

天草市立キリシタン資料館年報

ANNUAL REPORT No.5

2023.4-2024.3

2024年 6月

天草市 観光文化部 文化課
世界遺産・キリシタン資料館係

ごあいさつ

昭和 50 年頃より「地方の時代」という掛け声のもと、全国各地に歴史民俗資料館が雨後の筍のように建設されました。専門職が不在の中、地域の民俗資料を中心に収集・展示した施設は、資料台帳が未整備のまま収蔵庫のようにになっている姿を目にします。平成 27 年以降は「地方創生」という言葉を耳にしました。様々な時代を経て、今年 4 月、人口戦略会議の分析として全国の「消滅可能性自治体」が発表され、天草エリアでは、天草市、上天草市、苓北町のすべてが該当しています。推計では 2050 年に人口が半減することは想定されていましたが、「消滅可能性」という言葉は、大きな話題となっています。人口が半減することを行政運営から見ると、市役所職員、市予算の大きな減少につながります。また、自治体が保有する施設の多くを統廃合しなければ維持することができなくなるでしょう。さらに天草の高齢化率は 55% となり、2 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者が占めることとなります。

この報道に「人口減の対策は国の政策であり自治体への責任転嫁」「自治体の存続に危機感を持たざるを得ない」などの意見がありますが、私は「文化政策、博物館はどのようなになるのか。生き残るための戦略は？」と、思いを巡らしました。そして「この分析を前提に、25 年後も必要とされる博物館になるために①博物館としての資料保管・調査研究の継続、②これまでの管理運営に効率・効果と経営の視点を加えた評価、③運営組織の見直し、④常設展示の更新、⑤将来の統廃合」など、より魅力ある博物館を目指し、キリシタン資料館運営委員会や市民の皆様とともに検討を始めなければならないと感じているところです。

令和 5 年の熊本市エリアや阿蘇エリアの来訪者はコロナ禍前より増加していますが、天草エリアは回復していない状況です。これは、外国人の来訪者が影響しており、天草への誘客はこれからの課題と言えます。令和 5 年度に開催したキリシタン資料館セミナーでご講演いただいた阿部先生、竹田先生の発表趣旨を掲載していますが、博物館とは何なのか、今後の博物館の役割と管理運営の留意点を九州・熊本での人の動きを押さえつつ活動を展開する視座をご教示いただいています。本市の資料館においても参考とさせていただきながら、各種の取り組みを進めていかなければならないと、思いを新たにしているところです。この場をお借りしまして、両先生にあらためてお礼申し上げます。

結びに、令和 5 年度のキリシタン資料館活動に対し、ご尽力いただきました皆様、資料や図書をご寄贈いただきました方々に対し、深く感謝申し上げます。

令和 6 年 6 月 30 日

天草市立キリシタン資料館

館長 平田 豊弘

目 次

ごあいさつ

目次	1
1. 運営委員会	2
2. 資料館活動	
（1）企画展等	3
（2）講座・体験学習等	6
（3）イベント等	8
（4）刊行物	9
（5）視察・研修受け入れ	9
（6）その他	9
3. 資料収集	
（1）寄贈資料	10
（2）購入資料	10
（3）寄贈図書	11
（4）購入図書	12
4. 情報発信	13
5. 教育普及活動	
（1）博物館実習等の受け入れ	14
（2）館内見学の受け入れ	14
（3）その他	15
6. その他の活動	
（1）各機関との共同事業	16
（2）取材対応	16
（3）その他	16

資料

1. 来館者動向	18
2. 企画展・講演会等アンケート結果	23
3. キリシタン資料館セミナー講演録	41
4. 施設概要	58
5. 天草市立キリシタン資料館条例	60

1. 運営委員会

■運営委員（敬称略）

役 職	氏 名	職 名
委 員 長	安高 啓明	熊本大学大学院人文社会科学研究部 准教授
副 委 員 長	林田 龍太	熊本県立美術館学芸普及課 課長
委 員	関根 浩子	崇城大学芸術学部 教授
	里村 真理	熊本市現代美術館 学芸員
	大平 宏	天草市立本渡南小学校 校長

■第1回委員会

と き：7月14日（金） 14:00～

ところ：天草市役所本庁3階 第三会議室2

議 題	① 令和4年度事業報告と令和5年度事業計画について ② キリシタン資料館整備活用計画（令和5年度）について ③ その他（天正遣欧少年使節ゆかりの地首長会議への加入について）
要 旨	・天草キリシタン史映像制作の撮影方法や制作方法などについては、今後、仕様内容等を検討し、素案は運営委員会に報告する。 ・各館の多言語対応については、解説パネルに多くの言語を載せるのは不可能。スマートフォン等の活用を検討中。 ・来館者数の状況については、新型コロナも落ち着き回復傾向にある。外国人はアジア系、ヨーロッパ系の来館者が増えている。 ・平和教育を目的として、小学校の修学旅行では長崎に行く。今後、世界遺産も教育旅行誘致を意識する必要がある。 ・市内で取り組む世界遺産学も、地元・河浦の学校と同じ意識で、天草全体でも取り組みたい。そのため、天正遣欧少年使節ゆかりの地首長会議が行う交流事業も、天草全体から参加できるようにしてほしい。

■第2回委員会

と き：2月6日（火） 14:00～

ところ：天草市役所本庁2階 第一会議室

議 題	① 令和5年度各種事業の経過報告について ② 令和6年度事業計画について ③ 整備活用計画の取り組み状況について ④ キリシタン資料館の資料管理について ⑤ 資料の収集（購入）について ⑥ その他
要 旨	・入館者数の状況について、着実に新型コロナ前の状況まで回復してきているが、単純に回復しているだけか、取り組みが評価されて戻ってきたのかを精査する必要がある。 ・入館者の発地内訳については、正確に把握できていないが、台湾からのお客様が増加しており、個人客が多い傾向にある。 ・多言語対応については、データベースの導入とともに、アプリにより対応する予定。展示品解説を見直し、わかりやすい日本語表記なども検討していく必要がある。 ・副読本（天草キリシタン史ガイドブック）については、情報量が多く、小・中学校で活用するのは難しい。また、副読本を手にとった人が、資料館に行く、現地に行かせる仕掛けも必要。いったん、現状のものを発行し、あらためて目的等を再考したうえでブラッシュアップを図っていく。 ・資料収集方針については、資料のジャンル分けが必要。 ・資料台帳については、資料の評価額と購入額を分けて記載する必要がある。評価額は他所に資料を貸し出した際の保険料や、資料修復に係る基準として活用される。 ・資料収集方針、資料評価委員会の設置、資料台帳の様式のいずれも、運営委員会の意見を踏まえて策定・運用をしていく。 ・令和6年4月に、資料館展示資料取得基金条例の改正を予定。

2. 資料館活動

(1) 企画展等

①世界文化遺産登録5周年記念企画展「新収蔵品展」(天草コレジヨ館)

この企画展では、近年、本市に寄贈いただいたフランシスコ＝ザビエル肖像銅版画や、1597年に磔刑された日本二十六聖人のうち、天草コレジヨで学んだ聖パウロ三木に関する銅版画、1592年に印刷されたキリシタン版天草本『ドチリーナ・キリシタン』(東洋文庫蔵)が、かつてスペインの古書店で売りに出されていたときのカタログなど、近年、館へ寄贈された貴重な史料を展示した。

期 間: 4月28日(金)～8月30日(金)

ところ: 天草コレジヨ館

出展数: 20点

来場者: 3,466人



「新収蔵品展」チラシ

—担当学芸員による特別解説—

期 日: 4月28日(金)

ところ: 天草コレジヨ館

解説者: 中山 圭 (天草市文化課学芸員)

—講演会「書が結ぶ日本と西欧の交流」—

講師の羽田氏による「書が結ぶ日本と西洋の交流」の講演や「コレジヨの仲間」による古楽器演奏、羽田氏と市学芸員によるギャラリートークを行った。

期 日: 7月8日(土) 13:00～16:00

ところ: 天草コレジヨ館

講 師: 羽田 孝之 氏 (青羽古書店代表)

参加者: 41人



「書が結ぶ日本と西欧の交流」

②国指定重要文化財「^{りんずじ ちやくしよくせいたい ひ せき ず さしもの あまくさ しろうじんちゅう き}綸子地著色聖体秘跡図指物(天草四郎陣中旗)」公開

期 間: 5月1日(月)～7日(日)/8月1日(火)～7日(月)/

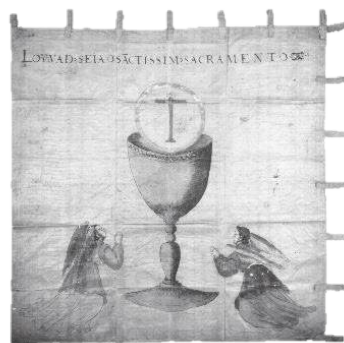
11月1日(水)～7日(火)/3月1日(金)～7日(土)

ところ: 天草キリシタン館

来場者: 5月-1,607人/8月-571人/11月-855人/3月-538人

合計 3,494人

※期間中は毎日開館した。



国指定重要文化財
「天草四郎陣中旗」

③世界文化遺産登録5周年記念企画展「祈りのカタチ 祈りのココロ」(天草キリシタン館)

前期・後期に分けて写真展を開催。前期は「祈り(願い)」をテーマに、天草フォトクラブの皆さんが撮影した写真を撮影者のコメントとあわせて展示。後期は、八代市出身の写真家、故・麦島勝氏が写真に収めた天草の風景と、人々の祈りの姿を紹介した。

期 間: 8月1日(火)~11月30日(木)

ところ: 天草キリシタン館

出展数: 前期-20点/後期-24点

来場者: 前期-4,512人/後期-5,233人



「祈りのカタチ 祈りのココロ」チラシ

—ギャラリートーク—

天草フォトクラブ前会長の小林健浩^{たけひろ}氏を講師に、「写真の魅力と力」と題して、講話いただいた。

また、麦島氏と交流のあった作家の前山光則^{みつのり}氏と、麦島氏の写真を多数所蔵する八代市立博物館未来の森ミュージアムの学芸員・石原浩^{ひろし}氏をゲストに迎え、写真の文化的意義や、故・麦島勝氏の作品について解説。展示資料についての理解を深めるとともに、市民と資料館の関わりについて学び、より良い資料館活動を目指した取り組みについて考えた。

期 日: 8月5日(土) 13:30~14:30

ところ: 天草キリシタン館

参加者: 14人



④キリシタン資料館セミナー「どうする資料館」 ※41~57 ページに講演録を掲載

講演1の「博物館の役割と地域との協働」では、地域に伝わる歴史・文化遺産の保存活用と博物館の役割について、「博物館と学ぶ」など6つのテーマに分けて豊富な資料や統計をもとに解説した。講演2の「玉名のキリシタン史と博物館」では、ヤマト王権との深いつながりを感じさせる伝左山古墳^{でんざやま}からの出土品などを紹介し、玉名という地域について解説。また、玉名市立歴史博物館ころろピアの地域と連携した活動について、事例をもとに紹介した。

期 日: 10月7日(土) 13:30~15:10

ところ: 複合施設こらす

参加者: 38人

講 師: 阿部 正喜^{まさき} 氏(東海大学教授)

竹田 宏司^{あつし} 氏(熊本県文化財保護協会理事・株式会社建設プロジェクトセンター事業推進部長)

⑤「世界平和大使人形の館」開設 10 周年記念 “青い目の人形” 写真パネル展

2013(平成 25)年 11 月に「世界平和大使人形の館」を開設して 10 周年となったことを記念し、県内に現存する青い目の人形「ベティー・ジェーンちゃん」と「パトリシア・ジェーンちゃん」の写真とパネルのほか、関連資料をあわせて展示した。

期 間:11 月 27 日(月)～3 月 31 日(日)

ところ:天草コレジヨ館

出展数:12 点

来場者:2,314 人



「ベティー・ジェーンちゃん」



「パトリシア・ジェーンちゃん」

⑥世界文化遺産登録5周年記念合同企画展

「潜伏キリシタンのまなざしー禁教と祈りー」(天草キリシタン館・天草ロザリオ館)

資料調査により新たに見つかった潜伏キリシタンに関する古文書から、島原・天草一揆や天草崩れ後の潜伏キリシタンの動向を紹介。天草キリシタン館では第 1 章「禁教社会と天草～類族^{るいぞく}の定義～」を、天草ロザリオ館では第 2 章「天草崩れ～『異宗』信仰者の誕生～」と第 3 章「天草崩れの果てに～合足組の結成～」を展示。表向きにはキリシタンがいない社会がつくられる一方で、禁教政策に従いつつも、先祖伝来の教えを守りひそかに信仰を続けた“潜伏キリシタン”について紹介した。

期 間:12 月 7 日(木)～2 月 26 日(月)

ところ:天草キリシタン館(第 1 章)/天草ロザリオ館(第 2・3 章)

出展数:第 1 章-13 点/第 2 章-23 点/第 3 章-10 点

来場者:天草キリシタン館-3,805 人/天草ロザリオ館-1,913 人



「潜伏キリシタンのまなざし」チラシ

ー講演会・ギャラリートークー

講演会では、令和 5 年 9 月に報道発表した新発見の資料を紹介。講演会の後は、トークキャストとして熊本大学大学院生の牧野氏がギャラリートークを行った。

「合足組とは何か～天草崩れとその後～」

期 日:12 月 10 日(日) 13:30～15:00

ところ:天草ロザリオ館

参加者:13 人

「類族と潜伏キリシタン」

期 日:1 月 21 日(日) 13:30～15:00

ところ:天草キリシタン館

参加者:17 人

講 師:安高 啓明^{やすたか ひろあき} 氏(熊本大学大学院准教授)/牧野 寿美礼^{まさの すみれ} 氏(熊本大学大学院生)

—古文書講座—

天草のキリシタンにまつわる古文書を、講師の解説とともに、講座形式で読み解いた。

「天草の古文書を読もう～“類族”と“潜伏”～」

期 日:12月17日(日) 10:00～11:00

ところ:天草キリシタン館

参加者:10人

「天草の古文書を読もう～天草崩れとその後～」

期 日:1月28日(日) 13:30～15:00

ところ:天草ロザリオ館

参加者:5人

講 師:安高 啓明 氏(熊本大学大学院准教授)/牧野 寿美礼 氏(熊本大学大学院生)



(2) 講座・体験学習等

①平和学習 造形作家 gaju ワークショップ「しゃぼんだまみたいなモビール♪つくろ！」

創造的な作品づくりを通して、平和の尊さと大切さを願う心を育む機会として開催。参加者は、紙粘土を使ったモビールづくりとシャボン玉遊びを楽しんだ。

期 日:8月19日(土) 13:30～16:30

ところ:天草コレジヨ館

講 師:造形作家 gaju(松岡 志保^{しほ})氏

参加者:10人



②市民講座「天草コレジヨ学 鋳造と印刷を体験しよう」

本講座では、手動活字鋳造を研究している西村洋信氏による活字の鋳造体験と、グーテンベルク印刷機を用いた印刷の実演・体験を行った。

期 日:10月14日(土) 13:30~15:30

ところ:天草コレジヨ館

講 師:西村 洋信 氏(熊本県立天草工業高等学校 校長)

参加者:20人



③わくわく歴史探検隊「昭和レトロな建物と絵付体験」

国指定重要文化財「天草四郎陣中旗」の公開にあわせ、天草キリシタン館内の見学と周辺の史跡等を巡った。今回は昭和初期に建てられた旧梶原病院や天草文化交流館の見学をメインに、絵付体験なども実施。旧梶原病院では、院内に事務所を構える一級建築士の畑元正司氏^{はたもとしょうじ}にご協力いただき、各部屋の解説をしていただいた。

期 日:11月5日(日) 8:30~11:30

ところ:天草キリシタン館

参加者:16人

ルート:天草キリシタン館発→殉教戦千人塚→天草文化交流館(絵付体験)→旧梶原病院→ギャラリー四季→天草キリシタン館着



(3) イベント等

①「コレジヨの仲間」による古楽器演奏

期 日：4月14日(金)/5月26日(金)/6月9日(金)/7月8日(土)/9月20日(水)/10月10日(火)/
10月13日(金)/11月29日(水)

ところ：天草コレジヨ館



天草コレジヨ館での公開演奏(6月9日)



天草市立本渡中学校生徒も演奏体験(10月13日)

②陶石にお絵かきしよう！

天草で採掘される「天草陶石」は質が良く、有田焼や波佐見焼など多くの焼き物にも用いられている。陶石に実際に触れることで、天草の魅力を再発見するきっかけとした。

期 日：8月6日(日) ①9:00～10:00②14:00～15:00

8月20日(日) 9:00～16:00

ところ：天草キリシタン館

参加者：56人



③クリスマスワークショップ

クリスマスシーズンにあわせてワークショップを開催。毛糸や天草の海岸にあった流木・貝殻などを使い、壁掛けができるクリスマス飾りを制作した。

期 日：12月9日(土) ①13:00～14:00②15:00～16:00

ところ：天草キリシタン館

参加者：31人



「クリスマスワークショップ」チラシ

④新年お年玉プレゼント

期 間：1月3日(水)-5日(金)

ところ：天草キリシタン館/天草コレジヨ館/天草ロザリオ館/
崎津資料館みなと屋

対 象：期間中先着 50 人

配布物：世界遺産クリアファイル

(4) 刊行物

タイトル	発行日
企画展パンフレット『令和5年度天草コレジヨ館企画展 新収蔵品展』	4月28日
天草市立キリシタン資料館年報 No. 4	6月30日
令和5年度天草キリシタン館企画展「祈りのカタチ 祈りのココロ」展示図録	8月1日
世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」登録5周年記念 令和5年度天草キリシタン館・天草ロザリオ館合同企画展「潜伏キリシタンのまなざしー禁教と祈りー」展示図録	11月30日
天草キリシタン史ガイドブック	3月31日

(5) 視察・研修受け入れ

受入総数:58 件

(内 天草キリシタン館:24 件 天草ロザリオ館: 4 件 天草コレジヨ館:12 件 崎津資料館みなと屋: 18 件)

利用目的	件数	利用目的	件数
視察	24 件	バスガイド研修	1 件
行政視察	9 件	下見	4 件
企業視察	4 件	学童見学	2 件
研修	14 件		

(6) その他

マーキング資料の修復

令和元年度に天草ロザリオ館で発覚したマーキング資料、計 97 点について、令和3年度から令和5年度にかけて、修復専門業者に依頼し、油性マジック等による毀損資料の修復を行った。

○修復点数

- ・ 令和3年度 32 点
 - ・ 令和4年度 47 点
 - ・ 令和5年度 18 点
- 計 97 点

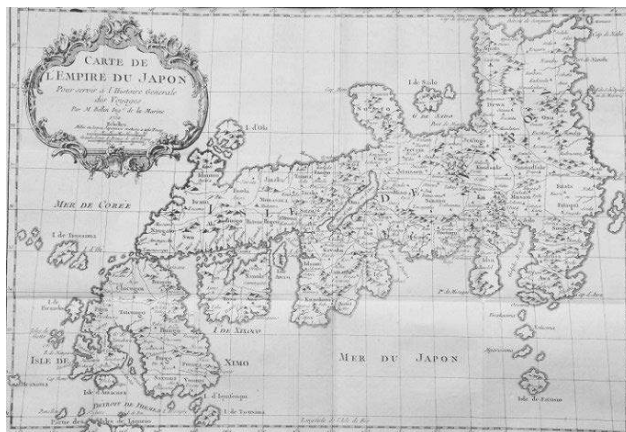
3. 資料収集

(1) 寄贈資料

資料名	点数	保管施設
新たに発見された日本諸島からの権威ある報告、ならびに近年ローマを訪れた日本使節の記録（日本諸島実記）	1	コレジヨ館
教皇グレゴリオ 13 世弔祈禱	1	
フォンコンパニー家 教皇グレゴリオ 13 世（銅版画）	1	
天正遣欧使節とグレゴリオ 13 世との謁見記念メダル	1	
日本の青年（全世界の古代および現代の服装より）	1	
マッフェイ全集 第2巻（全2巻中）大道寺建立裁許状、天正遣欧使節グレゴリオ 13 世謁見記録 収録	1	
フェランチ・ヴァリニャーノ、キエーティ国際アレッサンドロ・ヴァリニャーノ・センター（復刻版） / （天正遣欧使節）	1	
イエズス会史：アジア第2部：日本：第1巻～第3巻（全5巻中）	1	
イエズス会士の殉教者、聖パウロ三木、聖ヨハネ五島、聖ディエゴ喜斎（銅版画）	1	
日本の聖なる殉教者：1862 年6月ローマへの巡礼の旅	1	
205 人の日本殉教者：教皇ピウス9世によって 1867 年6月7日に列福された殉教者の偉大な死に関して：フェリペ・デ・ヘスス伝付属	1	
豊後の王シヴァン：日本の物語：王子教育の模範	1	
我らが信仰の秘儀、イエス・キリストの生涯と受難、聖母マリア、諸聖人の齎し賜う福音についての黙想：第2巻	1	
ラテン文典 全三書（大文典）	1	
1585 年：ミラノと日本との出逢い：イタリアへの最初の日本使節の贈り物	1	
航海記集成 第45巻	1	
西洋職人づくし	1	



天正遣欧使節とグレゴリウス 13 世
謁見記念メダル(天草コレジヨ館)



プレヴォ『航海記集成』所収
「日本帝国の地図」(天草コレジヨ館)

(2) 購入資料

資料名	点数	保管施設
歴史資料（西洋書） カリオン他『1579～1581年イエズス会日本年報』（1584年・ローマ刊）	1	コレジヨ館

(3) 寄贈図書

書籍タイトル	発行所	寄贈者	保管施設
大分市歴史資料館ニュース vol.129・130	大分市歴史資料館	大分市歴史資料館 館長 植木和美	キリシタン館
令和4年度第40回特別展「大分の人形浄瑠璃」図録			
世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」研究紀要 第2号	長崎県	長崎県文化振興・世界遺産課長	
世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」登録4周年記念令和4年度文化庁文化芸術振興費補助金（地方文化財総合活用推進事業）シンポジウム「キリシタンと日本」			
長崎歴史文化博物館 研究紀要 2022 第17号	長崎歴史文化博物館	長崎歴史文化博物館 館長 水嶋英治	
山川 詳説日本史図録（第10版）	株式会社 山川出版社	株式会社山川出版社編集部 藤浪和恵	
平成25-27年度 九州国立博物館文化財修理報告	九州国立博物館	九州国立博物館学芸部博物館科学課保存修復室	
文化的景観調査報告書第2集 旧木ノ口墓所 三菱財団助成研究『五島列島における潜伏キリシタン墓の新研究方法の確立』報告書	学校法人鎮西学院 鎮西学院大学石造遺産調査会	鎮西学院大学 教授 加藤久雄	
2022年度西南学院大学博物館・西南学院史資料センター連携企画展 学院史のなかの神学部一成立と歩み、そして現在一	西南学院大学博物館 西南学院史資料センター	西南学院大学博物館 館長 片山隆裕	
西南学院大学博物館研究紀要 第11号	西南学院大学博物館		
西南学院大学博物館ニュース Volume.148			
Amakusa Christian Guidebook	Amakusa Chuo Christian Church	南圭生	
大村市歴史資料館年報 令和4年度	大村市歴史資料館	大村市歴史資料館	
令和4年度大村市歴史資料館特別展図録「城址がみた近代大村」			
令和5年度企画展「弔う一玉名びとのお墓事情一」	玉名市立歴史博物館ころろピア	玉名市教育委員会	
高校入試わからないをわかるにかえる社会	株式会社 文理	株式会社 文理	
西南学院大学博物館研究叢書『戦争と学院』図録	西南学院大学博物館	西南学院大学博物館	
西南学院大学博物館年報 第15号 2022			
2024 共通テスト直前対策問題集 Vol.13 日本史	株式会社 河合出版	株式会社 河合出版	
2024 共通テスト直前対策問題集 Vol.13 日本史 分冊セット			
越中哲也先生論考集	長崎純心大学博物館	長崎純心大学博物館 館長 片岡瑠美子	
「世界の大翼竜展」展示ガイドブック	世界の大翼竜展実行委員会	熊本博物館長 竹原浩朗	
熊本博物館館報 No.35（2022年度報告）	熊本博物館		
指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書第69集『橋牟礼川遺跡（Ⅴ区）』	指宿市教育委員会	指宿市教育委員会生涯学習課文化財係指宿市考古博物館 時遊館 COCCO はしむれ	
指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書第70集 令和4年度市内遺跡発掘調査『迫田遺跡・敷領遺跡・道下遺跡・上払遺跡』			
西南学院大学博物館ニュース Volume 49	西南学院大学博物館	西南学院大学博物館	
熊本県公立高等学校長会（二水会）会誌	熊本県公立高等学校長会	熊本県公立高等学校長会	
玉名市立歴史博物館ころろピア年報 No.28 令和4年度	玉名市立歴史博物館ころろピア	玉名市教育長	
【企画展示】国指定史跡熊本藩高瀬米蔵跡展 御蔵をめぐる人びと 年貢・運上・蔵屋敷	玉名市教育委員会（玉名市立歴史博物館ころろピア）		

書籍タイトル	発行所	寄贈者	保管施設
令和5年度秋季特別展覧会 八代の歴史と文化 32 未来の森ミュージアム名品選 ―これが私たちの宝物―	八代市博物館 未来の森ミュージアム	八代市立博物館未来の森ミュージアム 館長 松井葵之	キリシタン館
秋月藩成立四百年記念特別展「藩祖 黒田 長興」	朝倉市秋月博物館	朝倉市秋月博物館 館長 佐々木隆良	
デイリーサピックス 小学5年 社会 江戸幕府の成立	株式会社日本入試センター (進学教室サピックス小学部)	株式会社日本入試センター (進学教室サピックス小学部)	
デイリーサピックス 小学6年 社会 外交史②欧米諸国との外交の歴史			
チマッティ神父 日本を愛した宣教師	ドン・ボスコ社	F r , ガエタノ・コンプリ	
イエズス会日本コレジヨの講義要綱 全3巻セット (ラテン語・日本語・解説)	株式会社 大空社	上智大学名誉教授 高祖敏明	
上智大学 教育学論集 52 号	株式会社 リプラス		
第70回 日本伝統工芸展図録	日本伝統工芸展運営委員会	第70回日本伝統工芸展福岡展実行委員会委員長	
日本歴史カード 改訂版	株式会社 主婦と生活社	株式会社 主婦と生活社 児童書・学習参考書編集部	
抜萃のつゞり その八十三	株式会社クマヒラ・ホールディングス	株式会社熊平製作所 会長 熊平雅人	
戯曲 島原の乱 レクイエム	内嶋善之助	内嶋善之助	
戯曲 珈琲とバナナとウィスキー ～宮崎康平、からゆきさんの話を聞く～			
東北学院大学 東北文化研究所紀要 第55号信心メダル《無原罪の御宿り》と修道会―布教期在日イエズス会とフランススコ会を中心に―	東北学院大学	佐々木和博	
令和5年度第3期企画展 民藝 用の美 その6 郷土玩具	公益財団法人熊本国際民藝館	公益財団法人熊本国際民藝館	
熊本博物館二〇二三年秋季企画展「あつまれ！地域の宝もの―熊本市域にのこる“文化財”のミリョク―」	熊本博物館	熊本博物館 館長 坂本康祐	
熊本博物館資料整理目録 3 三宅家文書			
熊本博物館資料整理報告書 4 井手三郎関係資料			
キリシタン文化研究会編 キリスト教伝来四百年記念 第三集 天草島原一揆報告書 ※古書	白鯨社	青羽古書店 代表 羽田孝之	
文禄旧訳 天草本伊曾保物語 (昭和3年10月発行 新村出著)	改造社	江浦久志・友田和徳	コレジヨ館
ÆSOP'S FABLES イソップ物語 (昭和4年1月発行 寺西武夫著)	研究社	江浦久志	
世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」研究紀要第2号	長崎県文化観光国際部文化振興・世界遺産課	長崎県	
世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」シンポジウム「キリシタンと日本」			
秋月藩成立 400 年記念特別展「藩祖 黒田長興」図録	朝倉市秋月博物館	朝倉市秋月博物館	

(4) 購入図書

書籍タイトル	発行所	保管施設
日本キリシタン史 殉教	主婦の友社	キリシタン館
肥後切支丹史(全二巻)	株式会社エルビス	
キリシタン文化と日欧交流	勉誠出版株式会社	
全国博物館園職員録(令和5年)	公益財団法人日本博物館協会	
天草騒動 眞龍斎貞水 口演 明治45年(大阪毎日新聞)	※古書	
古今実話 参考天草軍記 巻1.2.3.4	※古書	
仏学士院版羅葡日辞書	清文堂出版株式会社	コレジヨ館
天草版ラテン文典巻一全訳	八木書店	

4. 情報発信

日時	事業名	内容	会場
7/22（土）～8/27（日）	展示 PR・講演	城彩苑でのイベントで、資料展示やチラシ配布等を実施。8/20（日）には平田館長が「キリシタン資料館の魅力」について講演。	城彩苑 （熊本市）
10/23（月）～	「Do!! ☆あまくさ☆」 による情報発信	「天草の崎津集落」世界遺産登録5周年にあわせて、改めて「崎津集落」の魅力を周知。 「天草四郎陣中旗」国指定重要文化財登録60周年を記念して「陣中旗」の魅力を周知。	－
11/29（木）	報道発表	潜伏キリシタン関連（上田家文書）の新資料発見について。	天草市役所
3/1（金）～	ホームページ による情報発信	世界遺産ホームページのリニューアルにあわせて、キリシタン資料館4館の新着情報を同トップページに新設。	－
3/31 発行	ガイドブックの制作・発行	天草キリシタン史のガイドブックを制作・発行。	－

5. 教育普及活動

(1) 博物館実習等の受け入れ

①博物館実習

期 間	実習生	施 設
3月6日(水)	崇城大学芸術学部 美術学科・デザイン学科3年生 10人	クリシタン館 みなと屋

※崇城大学芸術学部学芸員課程の「博物館実習」における学外見学実習。

②インターンシップ

今年度の受け入れなし。

③職場体験

期 間	学 校	施 設
9月7日(木)	稜南中学校2年生 3人	クリシタン館
9月20日(水)~22日(金)	本渡中学校2年生 3人	クリシタン館

(2) 館内見学の受け入れ

期 日	学 校	目 的	施 設
6月22日(木)	本渡北小学校 歴史クラブ	クラブ活動	クリシタン館
7月12日(水)	牛深中学校	総合的な学習の時間	コレジヨ館
8月2日(水)	河浦中学校	総合的な学習の時間	みなと屋
9月8日(金)	河浦小学校	総合的な学習の時間「現地学習」	ロザリオ館 コレジヨ館 みなと屋
	河浦中学校	ボランティアガイド研修	コレジヨ館 みなと屋
9月14日(木)	五和中学校	総合的な学習の時間「世界遺産学」	クリシタン館 ロザリオ館
9月20日(水)	天草中学校	総合的な学習の時間	コレジヨ館 みなと屋
9月26日(火)	御所浦中学校	総合的な学習の時間	ロザリオ館 みなと屋
10月10日(火)	本渡中学校	総合的な学習の時間「天草発見」学習	ロザリオ館 コレジヨ館 みなと屋
10月12日(木)	天草小学校	総合的な学習の時間	ロザリオ館
10月13日(金)	本渡中学校	総合的な学習の時間「天草発見」学習	ロザリオ館 コレジヨ館
11月2日(木)	栖本中学校	総合的な学習の時間	ロザリオ館 みなと屋
11月6日(月)	牛深東中学校	総合的な学習の時間	コレジヨ館
11月22日(水)	本渡南小学校	生活科学学習「もっと知りたいたんけんたい」	クリシタン館
11月30日(木)	稜南中学校	総合的な学習の時間	ロザリオ館 みなと屋

期 日	学 校	目 的	施 設
12月5日(火)	有明中学校	総合的な学習の時間「世界遺産学」	クリシタン館 ロザリオ館
	有明中学校	有明まちづくり協議会・有明地区公民館主催 事業「天草体験学習」	クリシタン館
2月27日(月)	倉岳中学校	総合的な学習の時間	コレジオ館 みなと屋
3月15日(金)	新和中学校	天草潜伏クリシタン関連遺産についての学習	クリシタン館 コレジオ館 みなと屋

(3) その他

河浦中学校観光ボランティアガイドによる「みなと屋」の案内

平成 29(2017)年 10 月から、天草ぐるっと周遊バスの崎津集落案内を河浦中学校観光ボランティアガイドの生徒たちが担当。毎月 1 回、崎津諏訪神社、崎津資料館みなと屋前にて来訪者にガイドを行い、世界遺産・天草の崎津集落の魅力を伝えている。



6. その他の活動

(1) 各機関との共同事業

事業名	期 間	連携施設
熱中症対策一時休憩所としての開設 (※大塚製薬(株)から贈呈された飲料水も提供)	6月1日～9月30日	キリシタン館 ロザリオ館 コレジョ館 みなと屋
世界糖尿病デー「ブルーライトアップ」	11月13日～19日	キリシタン館
あまくさロマンティックファンタジー2023 イルミネーション設置協力	12月15日～1月8日	みなと屋

(2) 取材対応

実施内容	実施日・期間	関連施設
フジテレビ「世界の何だコレ!?ミステリー」撮影	4月12日	キリシタン館
みつばちラジオ公開収録	4月14日	コレジョ館
楽天トラベル取材	4月27日	みなと屋
熊本日日新聞社牛深支局「新収蔵品展」取材	4月28日	コレジョ館
天草ケーブルネットワーク取材	5月25日	みなと屋
読売新聞「新収蔵品展」取材	6月5日	コレジョ館
熊本県民テレビ「新収蔵品展」取材	6月26日	コレジョ館
みつばちラジオ生放送	6月27日	コレジョ館
BS Japanext 取材・撮影	7月20日	みなと屋
	7月21日	
「Do!?☆あまくさ☆」周遊バス同行取材	7月21日	キリシタン館 コレジョ館
TKU「Go!くまモン☆ナビ」撮影	8月24日	みなと屋
タイ旅行会社イメージホリディ熊本PR用CM撮影・取材	10月18日	キリシタン館 みなと屋
天草ケーブルネットワーク「クリスマスワークショップ」取材・撮影	12月9日	キリシタン館
BS フジ取材・撮影	2月3日	みなと屋
テレビ東京ハーフタイムツアーズ取材	2月3日	みなと屋
TBS テレビ「クレイジージャーニー」撮影	2月26日	キリシタン館

(3) その他

実施内容	実施日・期間	関連施設
消防・防災訓練	6月19日	ロザリオ館 みなと屋
	6月21日	キリシタン館 コレジョ館
台風6号接近に伴う臨時休館	8月9日	キリシタン館 ロザリオ館 コレジョ館 みなと屋
熊本県立拓心高等学校プラント交換・設置	8月17日/12月20日	キリシタン館
前久保コレクション展示再開	9月1日～	コレジョ館
本渡北区ウォークラリーチェックポイント設置	2月4日	キリシタン館

資 料

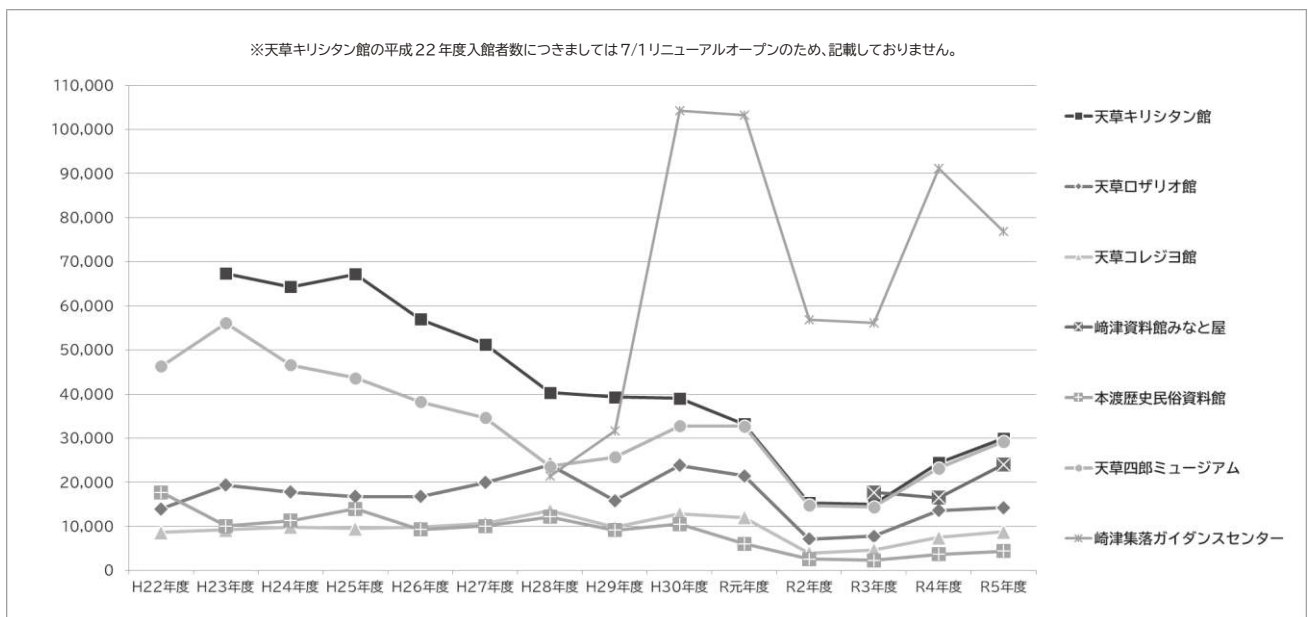
1. 来館者動向
2. 企画展・講演会等アンケート
3. キリシタン資料館セミナー「どうする資料館」講演録
4. 施設概要
5. 天草市立キリシタン資料館条例

1. 来館者動向

(1) 年度別入館者数

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	前年度比
天草キリシタン館	—	67,323	64,321	67,169	56,986	51,287	40,308	39,288	39,008	33,224	15,361	15,041	24,390	29,930	↑ 5,540
天草ロザリオ館	13,961	19,338	17,765	16,808	16,756	19,983	24,004	15,814	23,848	21,478	7,154	7,752	13,582	14,283	↑ 701
天草コレジヨ館	8,667	9,243	9,900	9,543	9,770	10,738	13,580	9,798	12,922	12,024	3,959	4,695	7,498	8,821	↑ 1,323
崎津資料館みなと屋	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17,740	16,490	24,090	↑ 7,600
本渡歴史民俗資料館	17,699	10,111	11,304	13,973	9,300	10,054	12,161	9,161	10,486	6,053	2,602	2,328	3,704	4,395	↑ 691
天草四郎ミュージアム	46,313	56,132	46,631	43,678	38,216	34,606	23,612	25,710	32,789	32,733	14,752	14,397	23,161	29,270	↑ 6,109
崎津集落ガイダンスセンター	—	—	—	—	—	—	21,462	31,618	104,176	103,205	56,884	56,190	91,083	76,919	↓ -14,164

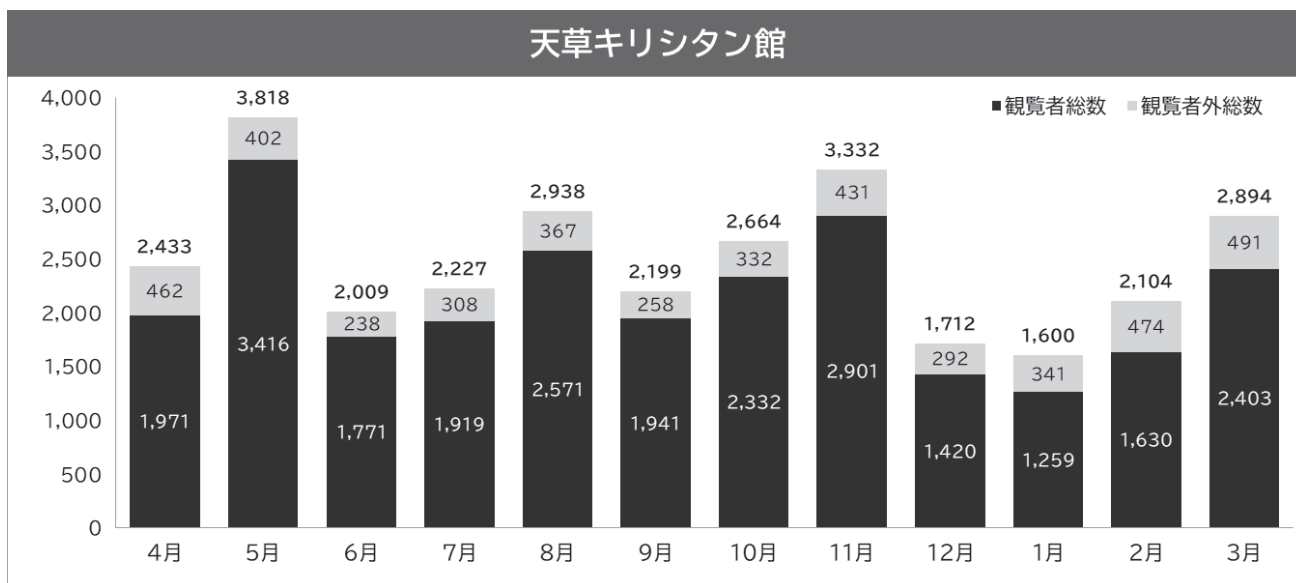
※単位：人



【入館者推移】

令和5年度における天草地域の展示施設の入館者は、上記の表・グラフのとおりとなっている。まず、天草キリシタン館、崎津資料館みなと屋、天草四郎ミュージアムは、前年度より20%余り増加しているが、崎津集落ガイダンスセンターは20%ほど減少している。熊本県観光統計表による県内での来訪者動向は、熊本市エリア、阿蘇エリアにおいては外国人観光客の増加により、このエリア全体での来訪者が増加している。天草エリアの来訪者は、コロナ禍前までの回復がうかがえるが、感染拡大前には戻っていない状況である。今後、日本人はもとより外国人観光客の周遊を促す取り組みが必要であろう。そのためにも、①多言語の天草総合カタログ、②資料館内の解説・キャプションの多言語化が必要である。

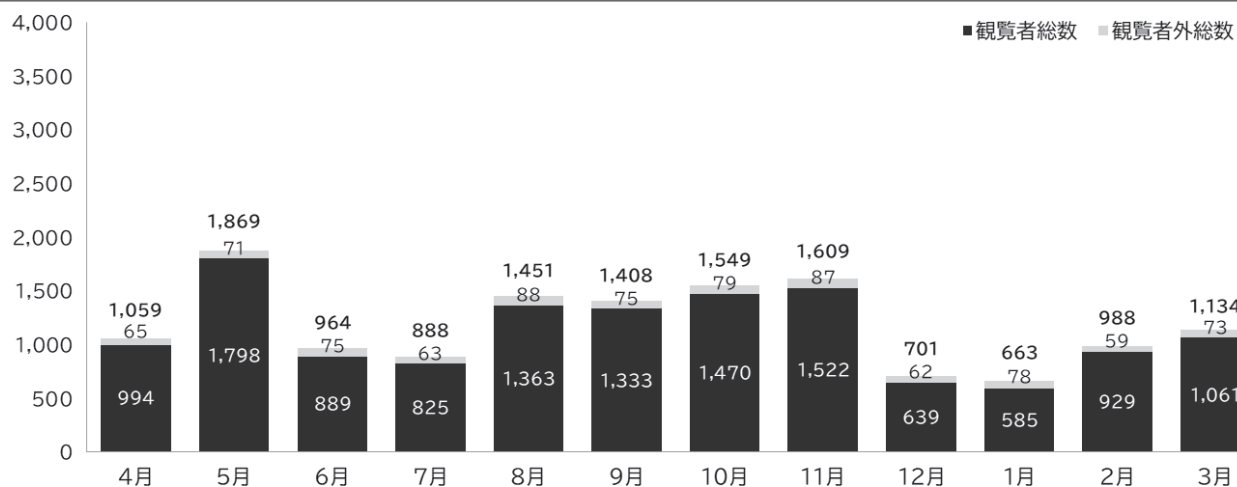
(2) 各館入館者数



天草キリシタン館		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
現金・クーポン	個人	一 般	1,477	2,617	1,238	1,325	1,816	1,429	1,572	1,941	928	1,017	1,199	1,517	18,076
		高校生	10	24	2	22	60	9	7	4	11	9	8	21	187
		小・中学生	80	133	12	128	256	40	28	25	55	58	47	101	963
	団体	一 般	42	45	204	147	28	58	174	405	145	3	62	190	1,503
		高校生	0	0	0	45	0	0	133	0	0	0	0	80	258
		小・中学生	18	0	4	0	0	0	0	61	0	0	1	9	93
周遊券（現金・クーポン）	個人	一 般	149	253	103	96	135	141	178	196	79	66	135	162	1,693
		高校生	1	0	0	1	4	0	0	0	1	0	0	1	8
		小・中学生	0	4	0	2	9	0	0	1	1	2	1	7	27
	団体	一 般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小・中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無料	一 般	180	315	193	144	169	206	221	231	133	94	168	261	2,315	
	高校生	0	2	1	2	3	2	2	1	3	2	1	2	21	
	小・中学生	14	23	14	7	91	56	17	36	64	8	8	52	390	
R5観覧者総数		1,971	3,416	1,771	1,919	2,571	1,941	2,332	2,901	1,420	1,259	1,630	2,403	25,534	
観覧者外総数		462	402	238	308	367	258	332	431	292	341	474	491	4,396	
来館者総合計		2,433	3,818	2,009	2,227	2,938	2,199	2,664	3,332	1,712	1,600	2,104	2,894	29,930	

※単位：人

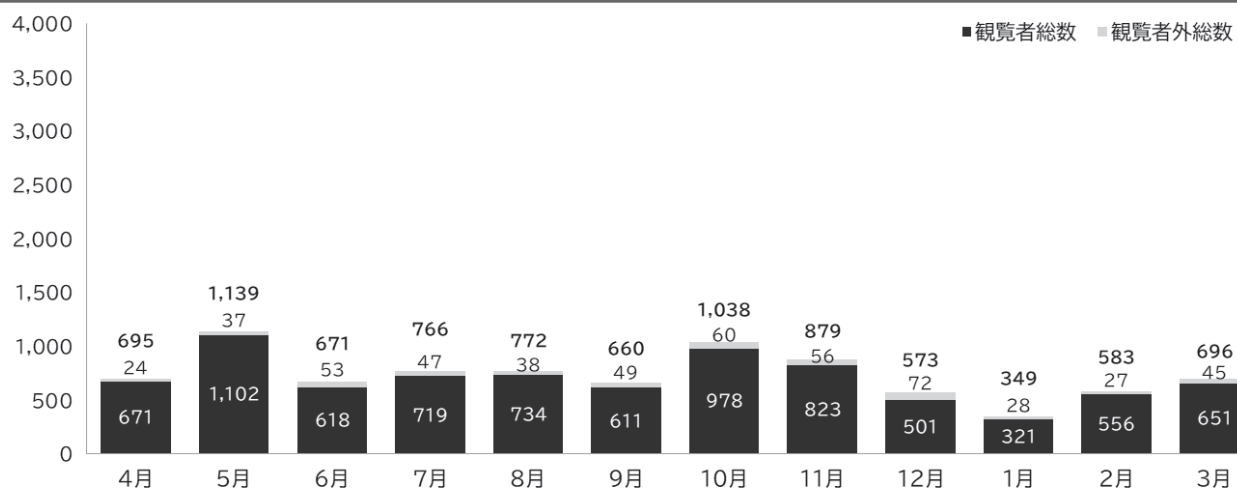
天草ロザリオ館



天草ロザリオ館		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
現金・クーポン	個人	一 般	602	1,100	549	498	759	671	733	798	326	353	556	563	7,508
		高校生	11	14	1	3	16	4	1	0	1	1	2	12	66
		小・中学生	14	38	4	20	75	18	6	14	13	10	11	19	242
	団体	一 般	8	15	53	29	31	179	27	57	3	5	9	28	444
		高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小・中学生	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	25
周遊券（現金・クーポン）	個人	一 般	72	123	55	31	68	65	63	73	45	37	56	71	759
		高校生	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	4
		小・中学生	4	2	0	1	14	0	0	1	3	2	0	8	35
	団体	一 般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小・中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無料	一 般	280	492	226	238	353	327	369	462	210	168	290	350	3,765	
	高校生	1	1	1	1	4	0	1	0	2	0	0	1	12	
	小・中学生	2	13	0	4	16	69	270	117	36	8	5	8	548	
R5観覧者総数		994	1,798	889	825	1,363	1,333	1,470	1,522	639	585	929	1,061	13,408	
観覧者外総数		65	71	75	63	88	75	79	87	62	78	59	73	875	
来館者総合計		1,059	1,869	964	888	1,451	1,408	1,549	1,609	701	663	988	1,134	14,283	

※単位：人

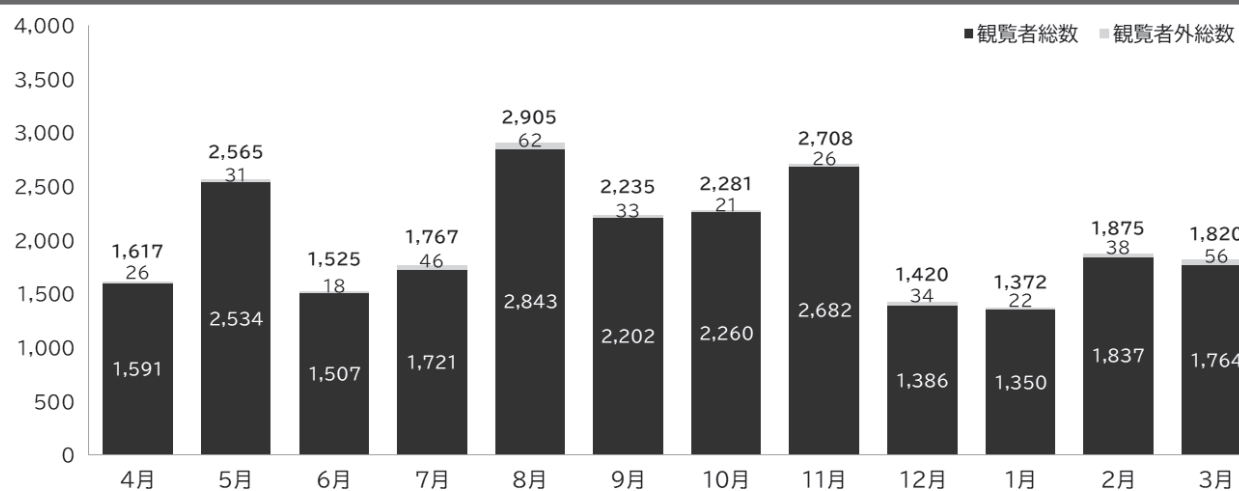
天草コレジヨ館



天草コレジヨ館		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
現金・クーポン	個人	一 般	246	437	197	222	268	181	218	272	114	100	142	167	2,564
		高校生	2	2	0	3	5	0	1	0	0	0	3	5	21
		小・中学生	6	4	0	19	14	1	2	2	5	2	3	7	65
	団体	一 般	34	27	97	70	3	0	34	47	106	5	37	6	466
		高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小・中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周遊券（現金・クーポン）	個人	一 般	107	170	103	107	126	116	124	183	91	66	126	135	1,454
		高校生	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	3	1	8
		小・中学生	0	4	0	3	11	5	0	1	8	6	5	4	47
	団体	一 般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小・中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無料	一 般	272	451	221	245	284	253	329	302	173	137	221	286	3,174	
	高校生	0	0	0	1	3	0	1	0	0	1	0	1	7	
	小・中学生	4	6	0	49	18	55	269	16	3	4	16	39	479	
R5観覧者総数		671	1,102	618	719	734	611	978	823	501	321	556	651	8,285	
観覧者外総数		24	37	53	47	38	49	60	56	72	28	27	45	536	
来館者総合計		695	1,139	671	766	772	660	1,038	879	573	349	583	696	8,821	

※単位：人

崎津資料館みなと屋



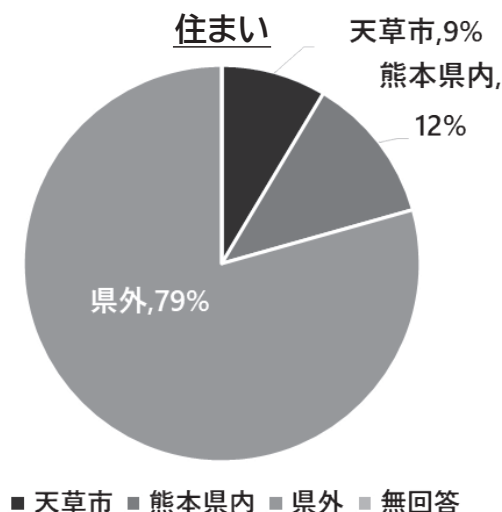
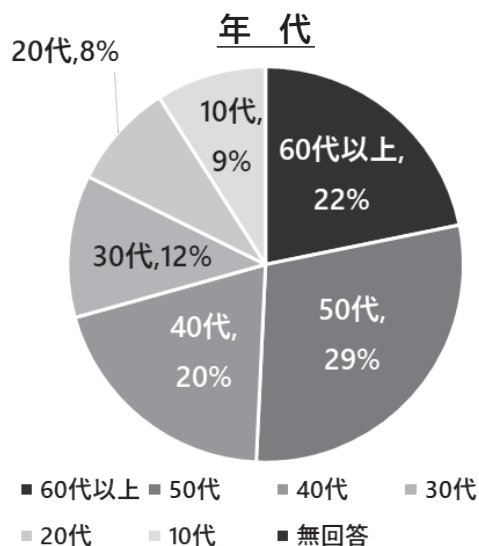
崎津資料館みなと屋			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
現金・クーポン	個人	一 般	1,166	1,808	1,202	1,308	1,924	1,688	1,709	1,961	1,063	1,071	1,387	1,194	17,481
		高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小・中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	団体	一 般	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	35
		高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小・中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周遊券（現金・クーポン）	個人	一 般	2	30	4	8	18	17	28	20	10	9	12	15	173
		高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		小・中学生	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	団体	一 般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小・中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無料	一 般	342	596	291	303	457	351	400	456	232	197	334	398	4,357	
	高校生	21	12	4	22	76	18	9	6	17	14	23	28	250	
	小・中学生	60	84	6	80	368	128	114	204	64	59	81	128	1,376	
R5観覧者総数			1,591	2,534	1,507	1,721	2,843	2,202	2,260	2,682	1,386	1,350	1,837	1,764	23,677
観覧者外総数			26	31	18	46	62	33	21	26	34	22	38	56	413
来館者総合計			1,617	2,565	1,525	1,767	2,905	2,235	2,281	2,708	1,420	1,372	1,875	1,820	24,090

※単位：人

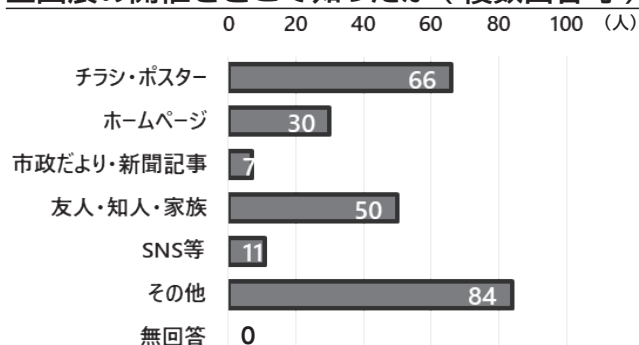
2. 企画展・講演会等アンケート結果

①企画展「新収蔵品展」(天草コレジヨ館)

【展示期間(4月28日～8月30日)開館日数:107日 観覧者数:3,466人 回答:266件 回答率:8.1%】

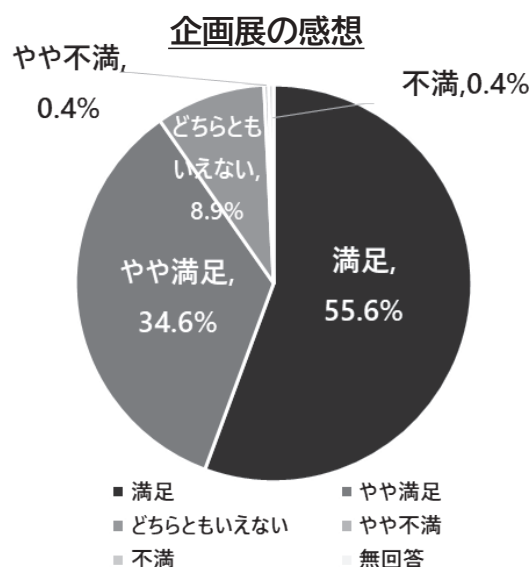


企画展の開催をどこで知ったか(複数回答可)

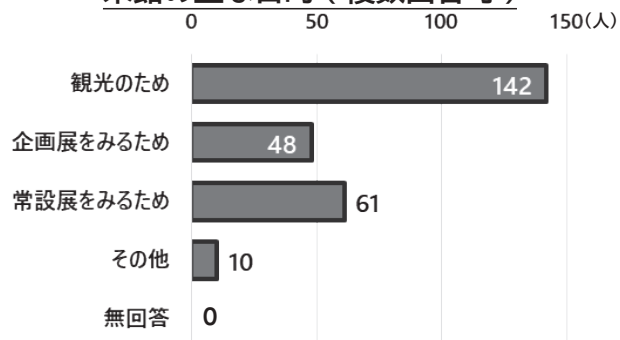


・企画展の情報入手方法(その他回答)

- ・道の駅崎津 ・ツアーの紹介 ・フェリー内広告
- ・天草案内情報 ・インターネット ・グーグル
- ・ここに来て初めて知った ・通りすがり ・標識 ・観光本
- ・キリシタン資料 ・観光ホームページ ・地元 ・新聞(あれんじ)



来館の主な目的(複数回答可)



・来館目的(その他回答)

- ・天正遣欧使節を見に来た。 ・周遊チケットだったから。
- ・仕事の調べもの ・来館者案内 ・イソボ人形が見たくて。
- ・ツアーの紹介 ・フェリー広告 ・天草案内情報
- ・4資料館で天草のことを知りたかった。

■講演会「書が結ぶ日本と西欧の交流」の感想

（感動・感謝のことば）

- ・ あっという間に終わり、とても知らない世界で感激しました。ととても貴重な時間をありがとうございました。
- ・ 大変貴重な古文書を数多くコレジヨ館に寄贈して下さったご芳志に心から感謝申し上げます。日本のキリシタンの信仰模様が日本よりも西洋に評価されてきたことを思い日本での見直しが始まることを希望します。益々のご活躍をお祈りいたします。
- ・ 歴史的な書の解説について、すごく丁寧にお話をしていただいたことに感謝しています。天草の基督教布教の様子も古書の解説を聞き、感動することができました。
- ・ タイトルにあるように“書”が結んでいるもののスケールの大きさに感動しておりました。
- ・ コレジヨ館の価値が上がり感謝します。
- ・ 良かった。
- ・ 印刷、古書の視点から歴史を振り返ることができ大変興味深かった。

（地域の文化・歴史と感動について）

- ・ 青羽さんが一人で古書店をなさっていると知り、ビックリしました。印刷の発展が宗教（基督教）に大きく関係し、そして天草がとりあげてあるのにも驚きました。
- ・ 従来この種については関心があったほうではないので、今回講演会に参加して、講話を聞いて天草の基督教関連の書が世界中にある事を知ることができました。
- ・ ヨーロッパからみて 15～16 世紀、インドから東側は、みなインドと思われていたことに驚きました。また、改めて天正遣欧使節団の果たした役割、功績の大きさを痛感しました。
- ・ 日本のような世界の端っこの、またさらに端っこの天草の事が、当時の西洋の書籍に載っていることは本当に驚きです。
- ・ 16 世紀頃に天草という地がヨーロッパで認識されていたことに驚いた。
- ・ 書物の増加には印刷技術だけではなく、宗教革命が大航海時代の影響も大きかったというのは初めて知りました。

（古書店の仕事への熱意、古書について）

- ・ 古書から歴史を見るという視点を知る事ができ、参考になりました。古書店の仕事も知ることができ、おもしろかったです。
- ・ 初めての洋古書の話で驚くこともあり、ヨーロッパでも日本、天草のことが描かれているとのこと、びっくりした思いです。すごいことですね、色々と集めておられる。
- ・ 洋古書についてのお話がとても興味深かったです。とても勉強になりました。
- ・ 日本と天草が早くからヨーロッパで注目されていたというのは嬉しかったですし、書に残っているのが感動しました。羽田さんの古書に対する情熱が伝わってきてまた感動しました。
- ・ 天草と古書をつなげていただける貴重な方がいらっしゃるののがわかって、ありがたいと思いました。
- ・ 私達、日本人が知りえない（数百年前）事が帰国の方の記述によって知る事も少し不思議です。いい話をたくさん聞く事ができ、良かったです。

■ギャラリートークの感想

（トーク内容・進め方について）

- ・ とてもわかりやすい対談形式のミュージアムトーク、素晴らしかったです。
- ・ 楽しいトークでした。
- ・ こういう高度な会話は楽しいですね。
- ・ 何度でも聞きたい。
- ・ 羽田さんの人柄、古書に対する造詣の深さ、中山さんとの関係がよくわかり大変おもしろかったです。お二人の掛け合い最高でした。
- ・ 楽しいトーク、二人の関係がいい感じですね。たくさん古書にめぐり会うこと素晴らしいことと感じます。
- ・ お二人の話がとてもおもしろかったです。聞いたことを参考にしながら展示をもう一度見たいと思います。

（寄贈資料について）

- ・天草コレジヨに関する最初の本（きっかけの書）を手始めに関連書の紹介があり、すごい天草だと感じた次第。※カンパーナ氏による世界史第2巻 1580～1596（イタリアヴェネツィア刊）
- ・メールがきっかけで本の寄贈やギャラリートークが聞けてよかったです。
- ・どのような経緯で資料が天草に来たのか知れて良かった。
- ・装丁についての詳しい話を初めて聞かせて頂き、大変おもしろかったです。お話を聞けば聞くほど羽田さんに感謝の心がわきました。

（知識の深まり・感動）

- ・装丁について資料を元にまた歴史上の人名も入り興味深く楽しかったです。
- ・木下李太郎の装丁翻訳した本があり、コレジヨに置いてあることを知り見てみたいと思った。
- ・コレジヨ館と羽田さんの出会いの不思議さ、熱意が人を動かす貴重な証言に感激しました。
- ・装丁の話に興味があって、とてもくわしく聞きたいです。
- ・コレジヨ館にある資料の価値がよくわかりました。質問にも丁寧にご回答いただきありがとうございました。
- ・良かったです。
- ・展示を見るだけではわからない知識を得る事ができて大変勉強になりました。
- ・色々な貴重なお話が聞けてよかった。非常におもしろかったです。
- ・ぜいたくな時間でした。ありがとうございました。

■その他

（コレジヨの仲間の演奏などについて）

- ・コレジヨ館、知ってはいましたが来館は初めてでした。今度はゆっくり友達と展示物を楽しみたいとおもいます。コレジヨの仲間演奏、初めて聞きましたが歌とくにリユート、リコーダーの音色がよかったです。心に残りました。
- ・「コレジヨの仲間」の美しい演奏にも魅せられました。400年以上前の歌と楽器を迫体験できる感動ありがとうございました。信長も楽しんでたことを想うと愉快になります。
- ・今回の案内を頂きましてありがとうございます。感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いします。古楽器もとてもよかったです。
- ・コレジヨの仲間のみなさんの演奏、素晴らしかったです。
- ・音楽がとても素敵でした。各楽器、歌がとても優しくて、くつろげました。
- ・コレジヨ館の前を通り過ぎるだけでしたが、またゆっくり来たいと思いました。

（知識の追求・向学心）

- ・その当時、本は上流階級の人たちのものだったのでしょうか？一般の人は字が読めたのだろうか？
- ・今まであまり古本のことを考えたことがありませんでしたが、これから少し興味をもって過ごしていきたいと思いました。

（講演・トークへの感謝）

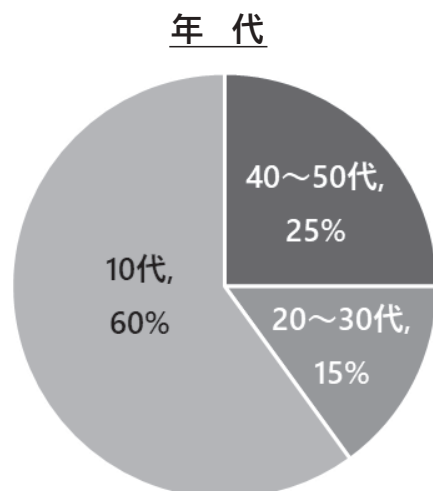
- ・素晴らしいお話ありがとうございました。
- ・色々勉強させていただきましたが奥が深すぎてこれから研究してみようかという気持ちをもつ勇氣はありませんが、楽しい時間をありがとうございました。

（追加開催のご要望）

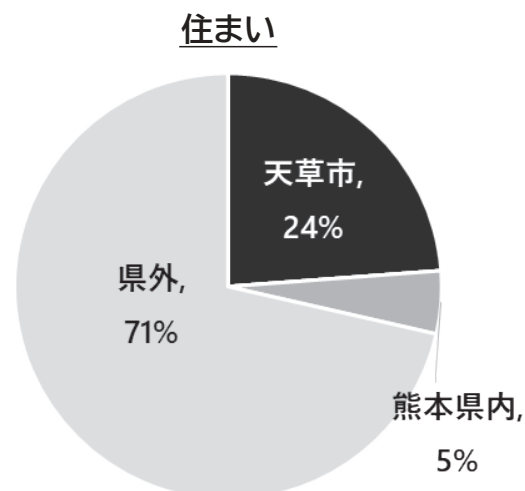
- ・第2回をお待ちしております。
- ・このような講演会をまた開催してほしい。
- ・大変おもしろかったです。今後も羽田さんのお話を聞く機会をつくっていただきたいです。

②企画展「祈りのカタチ 祈りのココロ」(天草キリシタン館)

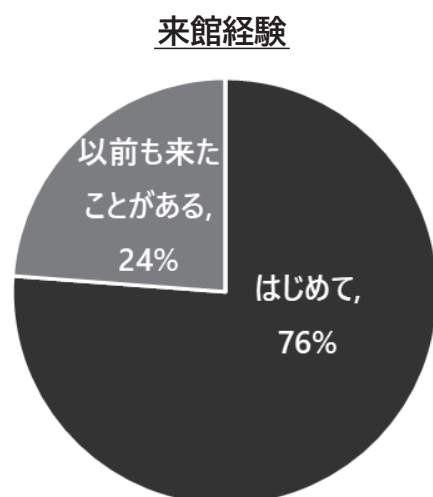
【前期展示期間(8月1日～9月30日)開館日数:53日 観覧者数:4,512人 回答:20件 回答率:0.44%】



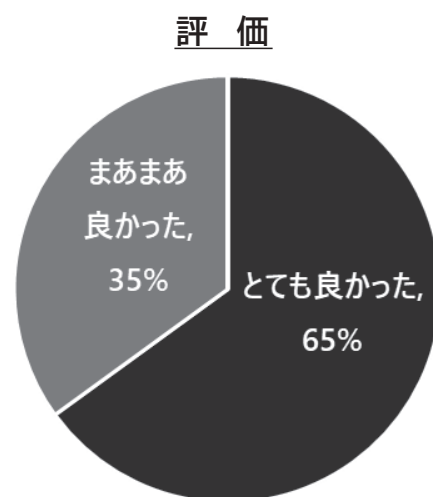
■ 60代以上 ■ 40～50代
■ 20～30代 ■ 10代



■ 天草市 ■ 上天草市 ■ 天草郡
■ 熊本県内 ■ 県外 ■ 無回答

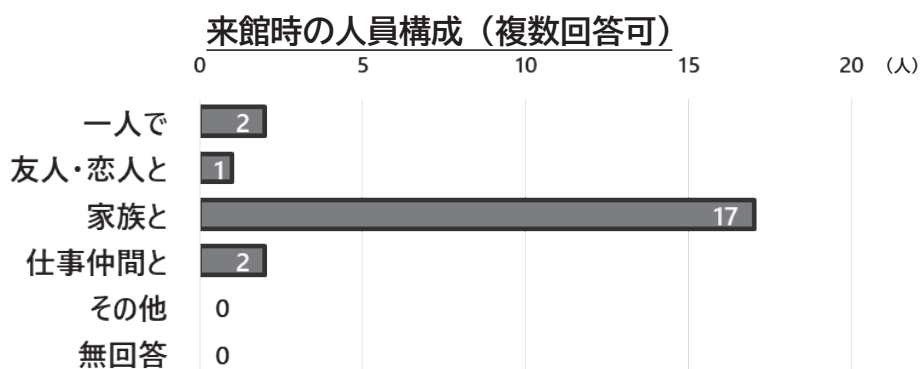


■ はじめて ■ 以前も来たことがある ■ 無回答

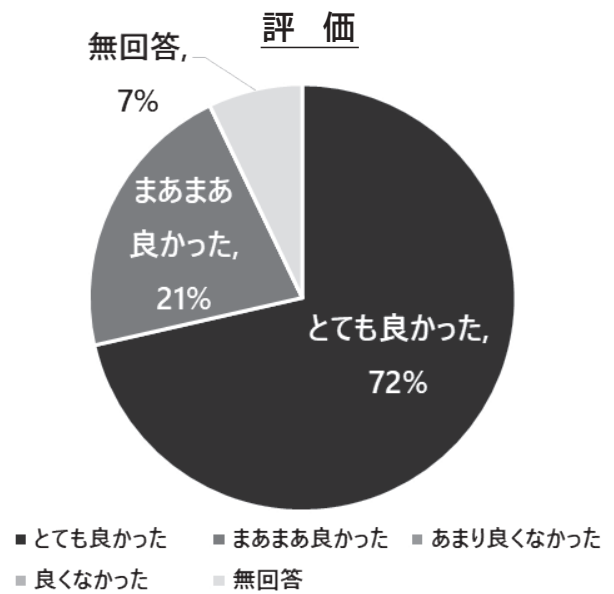
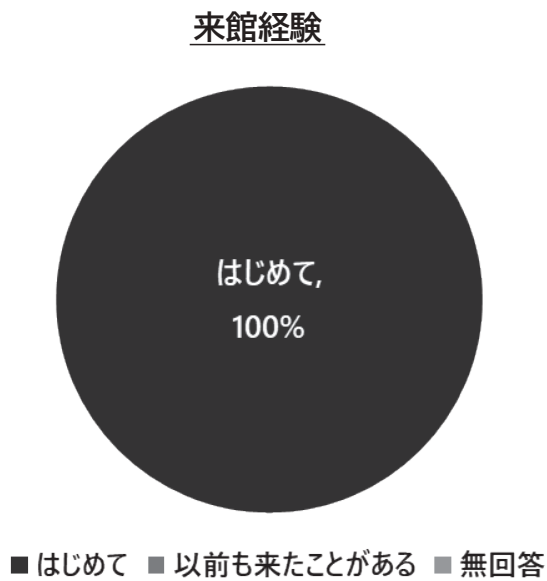
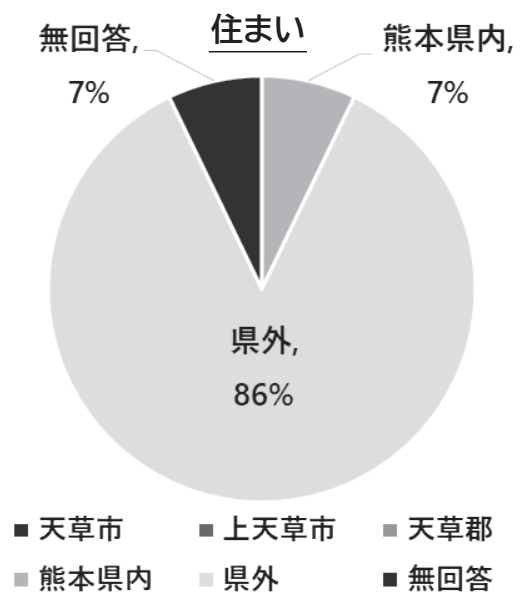
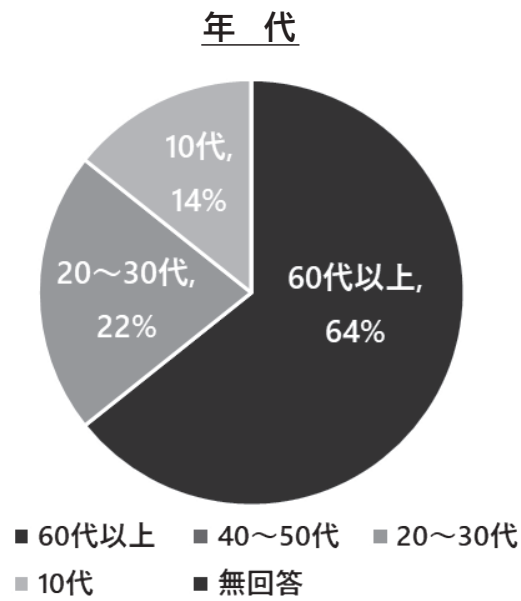


■ とても良かった ■ まあまあ良かった ■ あまり良くなかった
■ 良くなかった ■ 無回答

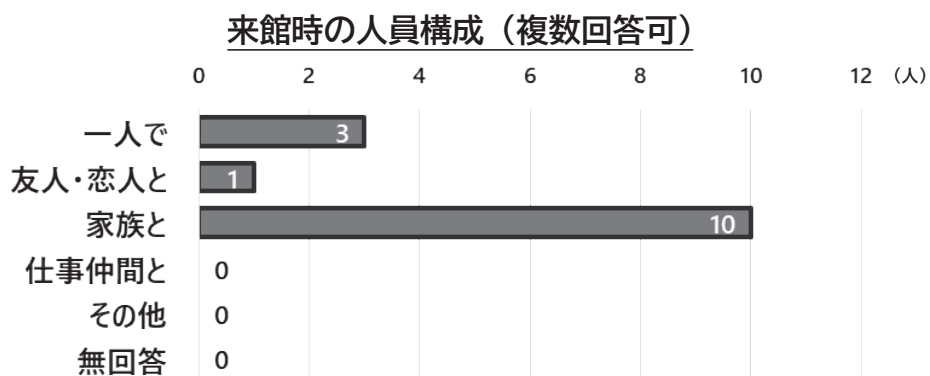
※常設展に対する評価も含まれる。



【後期展示期間(10月1日～11月30日)開館日数:53日 観覧者数:5,233人 回答:14件 回答率:0.27%】



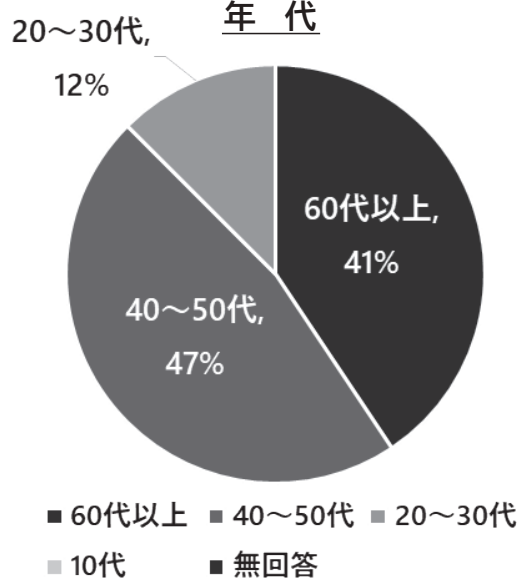
※常設展に対する評価も含まれる。



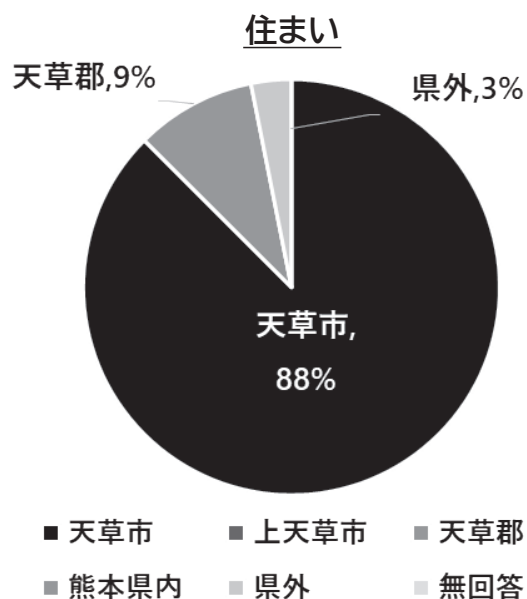
③キリシタン資料館セミナー「どうする資料館」

【開催日：10月7日(土)13:30～15:40 参加者:38人 回答:32件 回答率:84%】

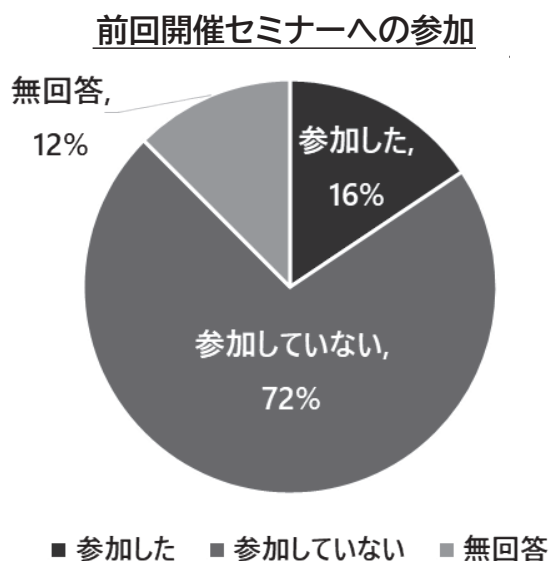
年 代



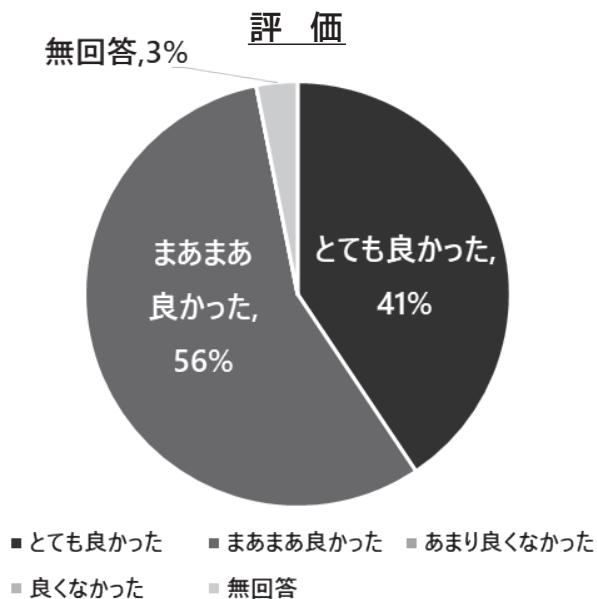
住まい



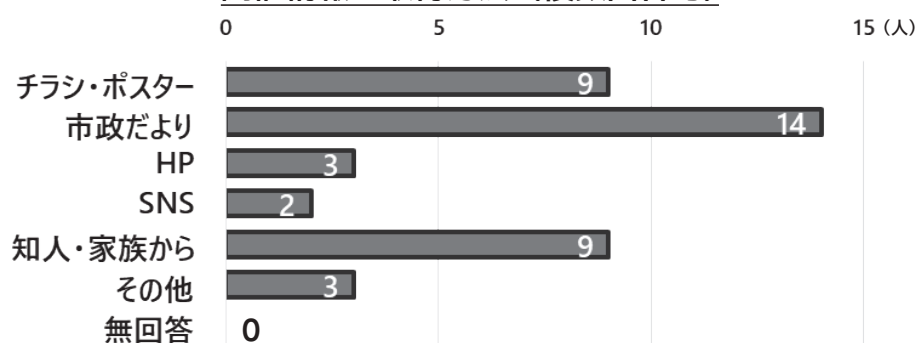
前回開催セミナーへの参加



評 価



開催情報の取得方法（複数回答可）



■セミナーの感想（一部紹介）

- ・ 博物館の役割について考えるいい機会になった。
- ・ 「博物館の役割と地域との協働」はとても大切なことなので、今回テーマにさせていただき方向性が出来たと思います。
- ・ 熊本県文化財保護協会理事の竹田氏のお話しが実例を交えてわかりやすく興味深かった。
- ・ 時間が足りなかった。重要なテーマであるので2回シリーズでゆっくり詳しく話を聞きたい。今後も同じテーマでの講演会をしてほしい。
- ・ 天草の資料館の現状、博物館の意味・コンセプト等少なからず知ることができて良かった。また、市民として資料館の問題点を見ることで今後の資料館との付き合い方を考える一要因となりました。
- ・ 関係自治体や地域との連携が必要ということを認識することができた。

■今後開催してほしいセミナー・講演会（一部紹介）

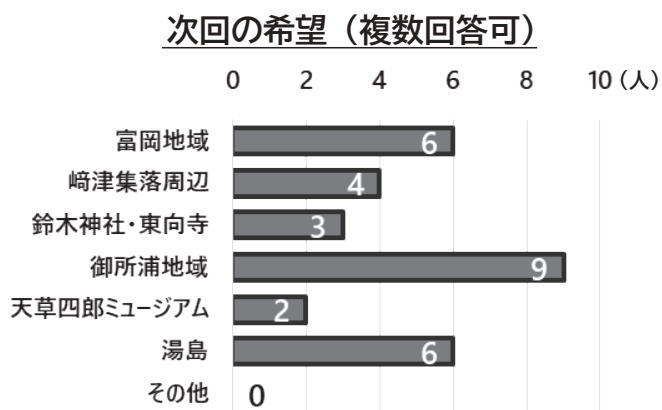
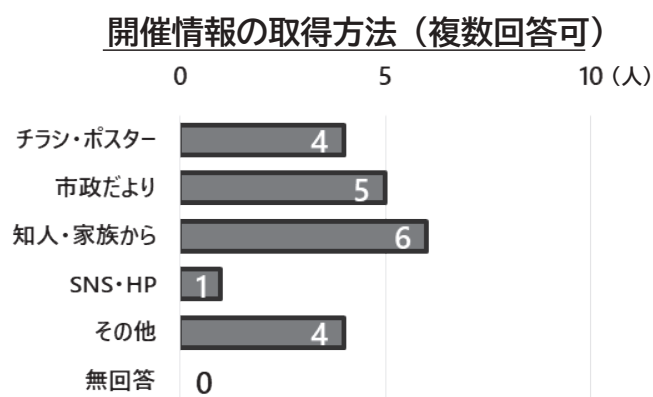
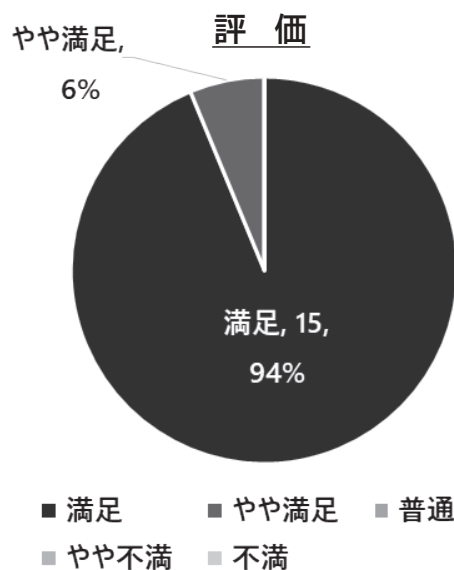
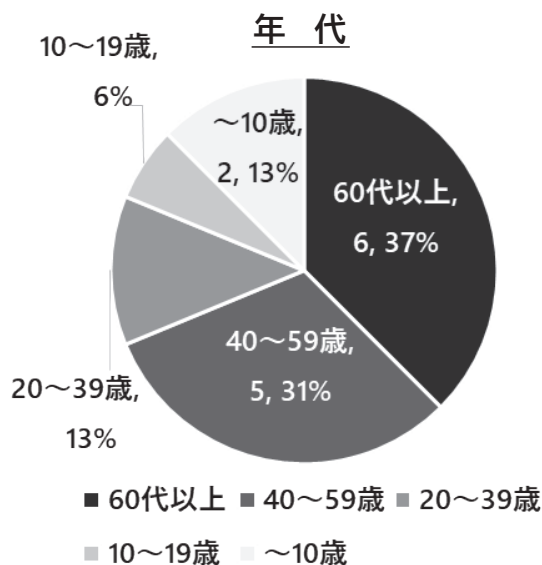
- ・ 天正遣欧使節の少年達の目線のストーリー（気持ちの変化の様子を知りたい）
- ・ 潜伏キリシタンはなぜ厳しい弾圧がある中で信仰を守り続けたのか。潜伏キリシタンの歴史に特化したセミナーを開催してほしい。
- ・ 天草の自然を紹介するセミナー（地質、山・海の生物、季節など）
- ・ 天草の昔ばなし、風俗、近代史など身近なテーマ。（化け物、怖い話もOK）天草にしかない子どもの遊びなどあれば面白いと思います。
- ・ 資料館を取り巻く地域の歴史・史跡などの具体的、視覚的な講演会や見学会を開催していただきたい。

■資料館でしてほしい展示・活動【イベント・ワークショップ】（一部紹介）

- ・ プロジェクションマッピングの活用（天草四郎がしゃべる・動く映像）
- ・ 感情や五感に訴える演出（音楽や振動などの活用、遣欧使節団の少年達が実際に食べたであろう食事の試食など）
- ・ 天草四郎のコスプレ、写真撮影スポットの設置など。
- ・ コレジオ館に展示してある印刷機やパイプオルガンをもっと紹介してほしい。
- ・ 資料館専属のボランティアガイドがいるとよいのではと思う。
- ・ 市民全員がボランティアガイドになれるよう広報宣伝に努める。体験学習も有効…。
- ・ 天草の歴史的資料産物、食べもの等、資料館をベースに“天草大博覧会”レベルのイベントを開催して欲しい。

④「わくわく歴史探検隊」(天草キリシタン館)

【開催日:11月5日(日)8:30~11:30 参加者:16人 回答:16件 回答率:100%】



■わくわく歴史探検隊の感想 (一部紹介)

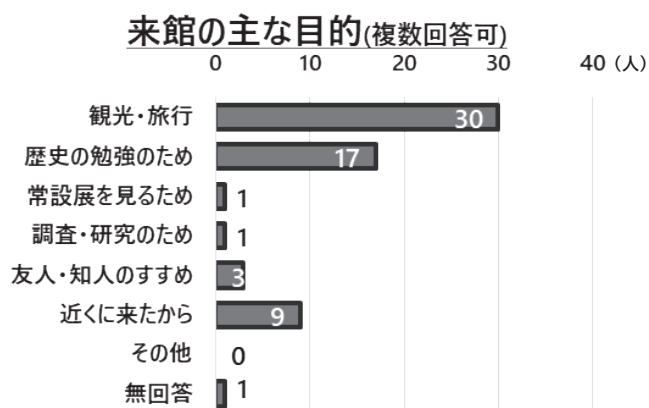
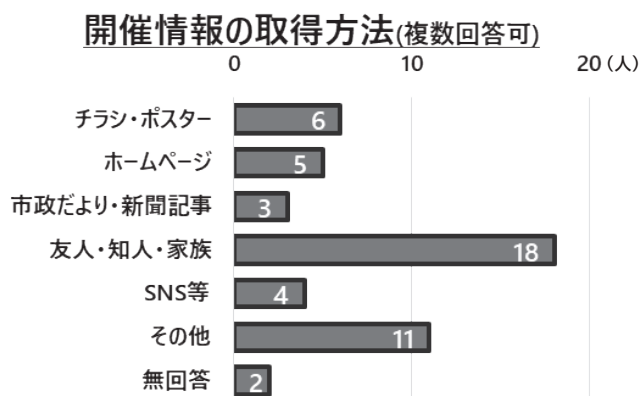
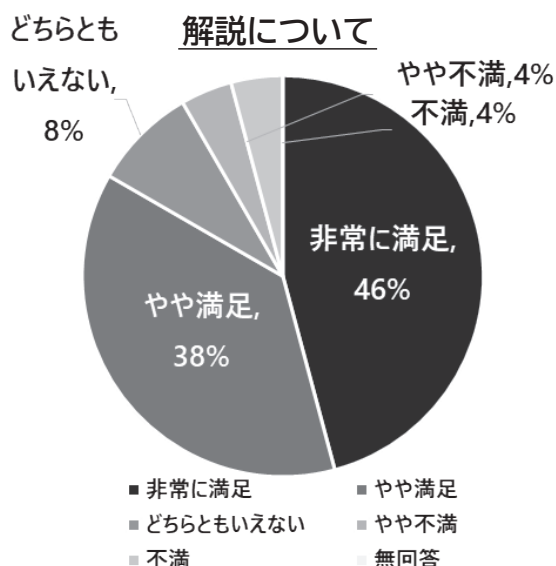
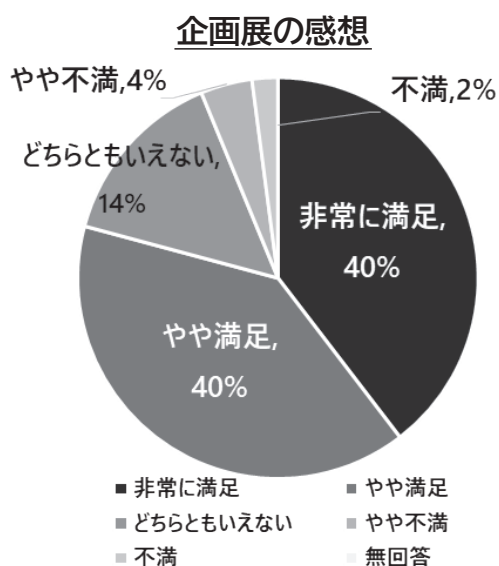
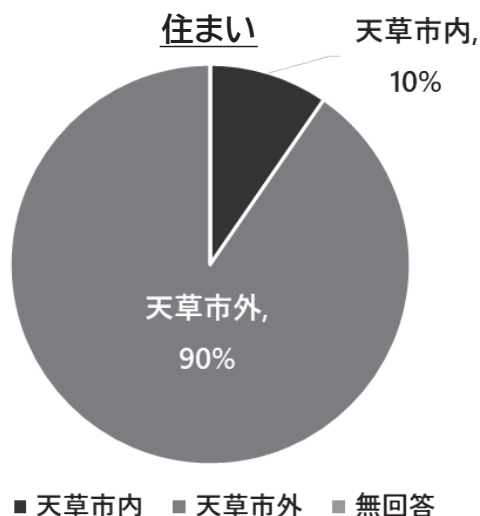
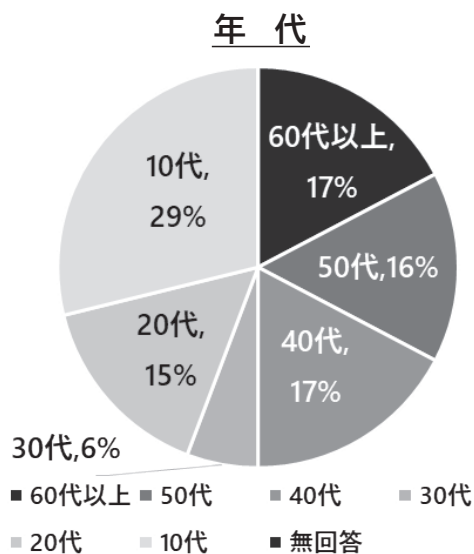
- ・ 歩かないと気付かない街の様子が分かった。天草にはすばらしい建物や歴史がたくさんあることを知ることができた。
- ・ 古い史跡をたくさん見せていただき、説明も詳しくわかりやすくお話ししていただき勉強になりました。街並みもなつかしく散歩できました。
- ・ 梶原病院跡に感動!!もっと畑元さんのお話を聞きたかったです。
- ・ 旧梶原病院の説明面白かったです。天草にもこんなに価値のある建物があることに驚きです。古くから知っている建物が面白かった。
- ・ 昭和初期の天草の建造物の内装や由来を知ることができた。
- ・ 病院のクイズが楽しかったです。

■良かった点や改善点など (一部紹介)

- ・ よくできていたのでそのままよい。先生方の話も良く分かった。
- ・ 時間、距離ちょうど良かったです。紅葉の季節で、景色も楽しめました。
- ・ 今後も機会があれば参加したいと思います。
- ・ クリアファイルをコース途中でもらうのは少し邪魔かなと思いました。手で持って歩くのは大変だし、お年を召した方は階段等あぶない。

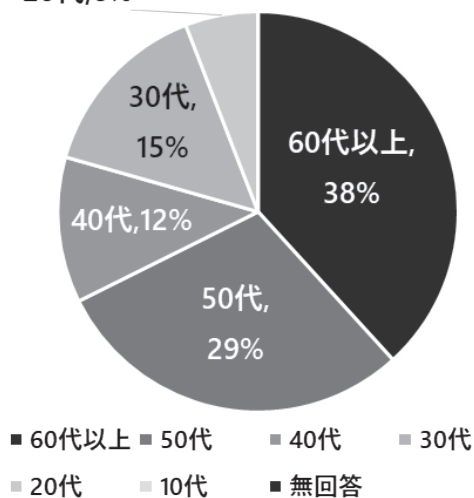
⑤合同企画展「潜伏キリシタンのまなざしー禁教と祈りー」（天草キリシタン館・天草ロザリオ館）

【《天草キリシタン館》開館日数:68日(12/7～2/26) 観覧者数:3,805人 回答:48件 回答率:1.3%】

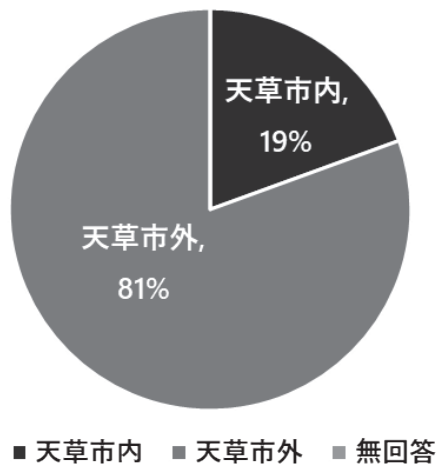


【《天草ロザリオ館》開館日数:68日(12/7～2/26) 観覧者数:1,913人 回答:34件 回答率:1.8%】

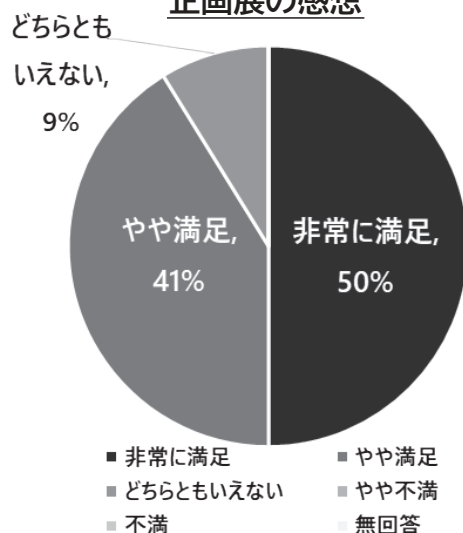
年代



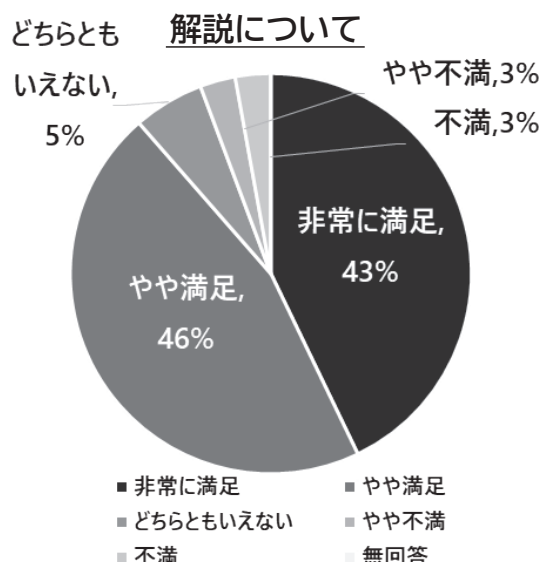
住まい



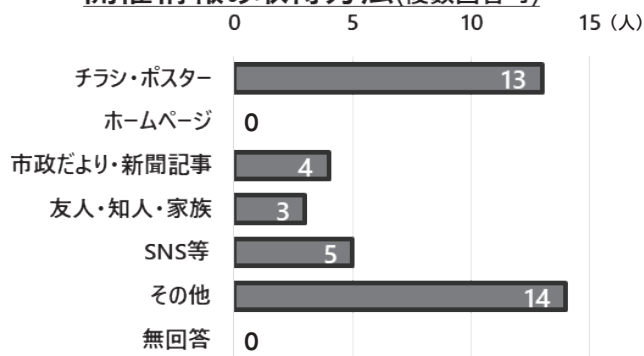
企画展の感想



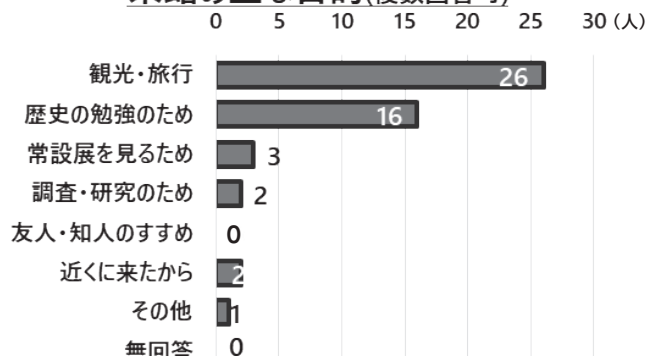
解説について



開催情報の取得方法(複数回答可)



来館の主な目的(複数回答可)



・企画展の情報入手方法(その他回答)

- ・ロザリオ館に来て知った。 ・観光本 ・Google map
- ・近所の旅館の紹介 ・通りすがり ・学芸員さんに紹介されて

■企画展の感想（一部紹介）

（クリシタン館）

- ・私は歴史に興味をもっていないけれど興味を持てた。
- ・歴史について知ることができる、わかりやすい展示だった。
- ・類族のことやその管理を徹底して行っていたことなど知らなかったので勉強になりました。
- ・少しわかりづらいパートもありましたが、非常に面白かったです！ありがとうございました。
- ・最後の天草地図の詳細な説明、現代語訳を見たかったです。地図レプリカ(現代語訳付)は壁につけて展示したらいいと思いました。
- ・コンパクトなのに内容が充実していた。
- ・理解しつくせない内容ではありましたが、思い及ばぬ方法でクリシタンを禁制してきた歴史に驚きました。
- ・出生届と死亡届の当時の書面がたいへん印象深かった。
- ・類族について、一家族の文書がまとめてあったのはとてもわかりやすかったです。
- ・当時の信者の方々の信仰を守るための工夫や生活状況も、展示物のおかげでその時の人たちの苦勞が想像できた。

（ロザリオ館）

- ・企画展の説明内容を詳しく話していただき、天草崩れのその後がわかった。
- ・合足組については聞いたことがなかったのでよく理解でき勉強になりました。
- ・「潜伏クリシタンの新史料」は新聞で見たばかりで詳しく見られてよかったです。
- ・合足組について、展示内容をまとめた小パンフが別途手渡されるとよい。
- ・古文書の現代訳が知りたいと思った。（機会があれば）
- ・天草崩れのその後の様子がよくわかった。新史料の発見のニュースが展示、企画までの対応が早くとてもありがたかった。
- ・隠れクリシタンのその後のこと、日本の精神的なまじめさが印象に残った。

■意見・要望（一部紹介）

（クリシタン館）

- ・言葉がわかりにくい漢字にルビが少ない。小学生が自分で読む気がなくなる。（例：「終焉」→「終わり」で良いのでは）
- ・歴史的な文章を現代の文章にしてほしい。
- ・外国人用に翻訳したものを表示してほしい。
- ・お土産コーナーを少しでも充実させてほしい。（キーホルダーなど）
- ・もう少し立体物がほしいです。

（ロザリオ館）

- ・全国的に発表してほしい。日本人として知った方がよいと思います。
- ・天草の和寺？と鈴木重成らの関係を少し詳しく教え願えればと思います。
- ・子どもも参加できるアクティビティなど、ワークショップがあるとよいです。
- ・展示を「見せる」だけでなく、展示内容をまとめた小パンフが入手できるようにしてもらいたい。有料でも構わない。

「潜伏キリシタンのまなざし」講演会・ギャラリートーク

【《天草ロザリオ館》開催日:12月10日(日) 参加者:13人 回答:13人 回答率:100%】

年 代



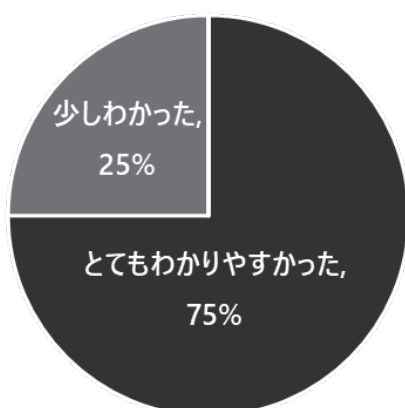
■ 60代以上 ■ 50代 ■ 40代
■ 30代 ■ 20代 ■ 無回答

住まい



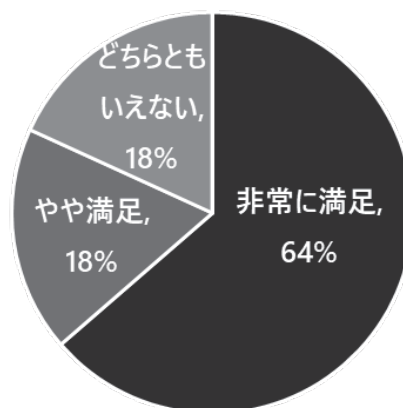
■ 天草市内 ■ 天草市外 ■ 無回答

講演会の内容



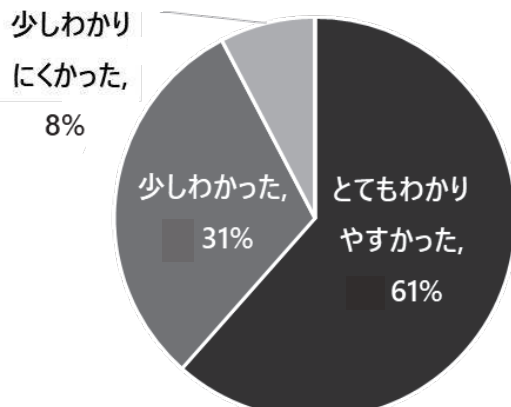
■ とてもわかりやすかった ■ 少しわかった
■ どちらともいえない ■ 少しわかりにくかった
■ 全く分からなかった ■ 無回答

講演会の感想



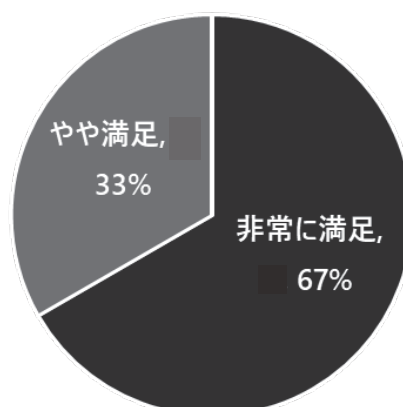
■ 非常に満足 ■ やや満足
■ どちらともいえない ■ やや不満
■ 不満 ■ 無回答

ギャラリートークの内容



■ とてもわかりやすかった ■ 少しわかった
■ どちらともいえない ■ 少しわかりにくかった
■ 全く分からなかった ■ 無回答

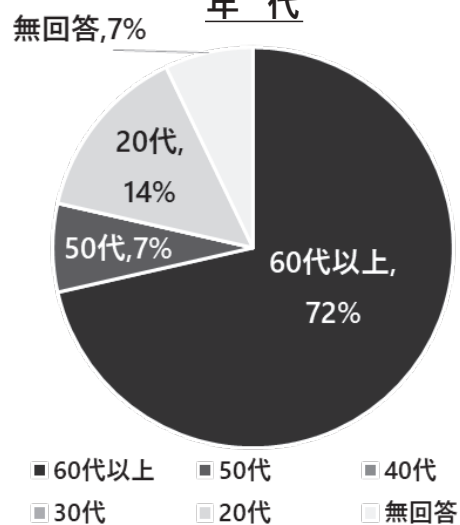
ギャラリートークの感想



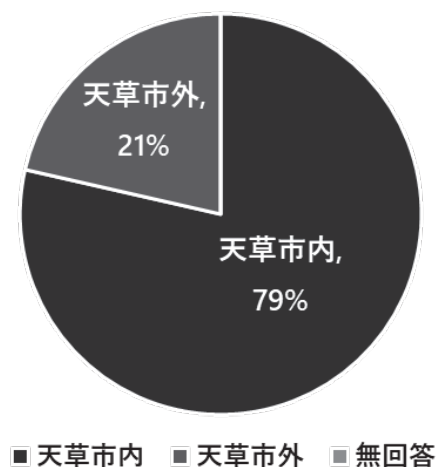
■ 非常に満足 ■ やや満足
■ どちらともいえない ■ やや不満
■ 不満 ■ 無回答

【《天草キリシタン館》開催日：1月21日(日) 参加者:17人 回答:14人 回答率:82%】

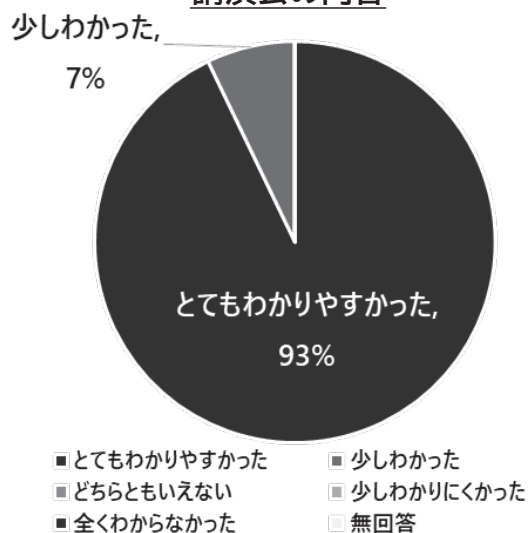
年 代



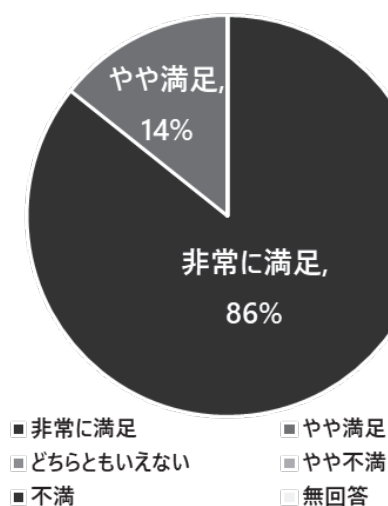
住まい



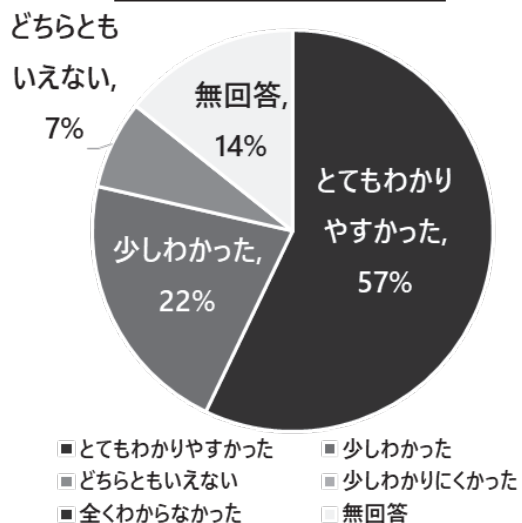
講演会の内容



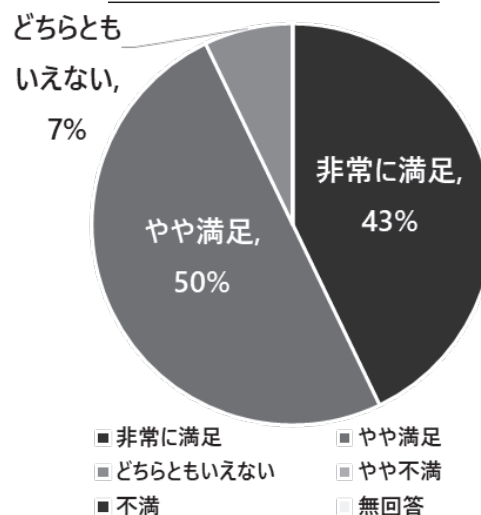
講演会の感想



ギャラリートークの内容



ギャラリートークの感想



■講演会・ギャラリートークの感想

(クリシタン館)

- ・先生、牧野さんともにハキハキと話されており、わかりやすかった。
- ・今回も楽しかったです。
- ・早足でしたがわかりやすくて楽しかったです。先生の“仏教徒を装って”という言葉に対する修正の必要性を考えておられるところにとても共感しました。“習慣”として受け継ぐことは比較的現実的と思いますが、そこにどれだけ信仰があったのか、もっと知りたいテーマです。(キリスト教を信じていたのか、先祖の教えを信じていたのか)キリスト教研究をもっとすすめていく必要性を感じます。そこがないと、どうしてもピンときませんね。
- ・類族についてよくわかりました。ありがとうございました。
- ・大変わかりやすく、さらに勉強したくなりました。
- ・具体的な説明で非常にわかりやすかったです。その当時の農民らの一生(?)がどのように管理システムの下におかれていたか、その中であってしたたかに生きていたのかと、考えさせられました。
- ・緊張しながら頑張っていたと思います。
- ・いろいろと説明していただき楽しかったです。
- ・質問に対して丁寧に答えていただいた。
- ・安高先生の講演の後であり、わかりやすかった。
- ・説明者が大変緊張しておられたようです。

(ロザリオ館)

- ・異宗、邪宗、合足組の知らなかった内容がよく理解できた。
- ・わかりやすくてよかったです。
- ・非常に満足。
- ・資料が用意してあったので、先読みしていたのでわかりやすかった。
- ・わかりやすく説明していただき大変勉強になりました。
- ・チラシ等に、もう少し内容を書いてもらおうと、事前に少し勉強(下調べ)ができた。
- ・時間が少し短かった。
- ・大体、説明は理解できたので満足。
- ・非常に満足。
- ・ちょっと難しかった。トークの内容はよかった。わかりやすかった。
- ・説明が時代列でわかりやすかった。
- ・資料をゆっくり見たかった。

■意見・要望

(クリシタン館)

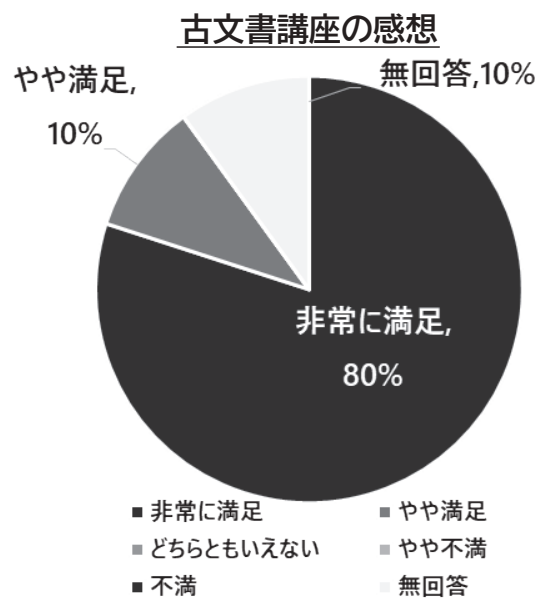
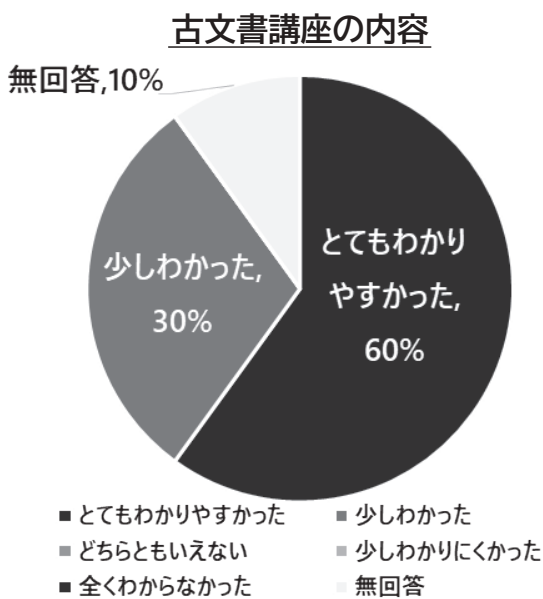
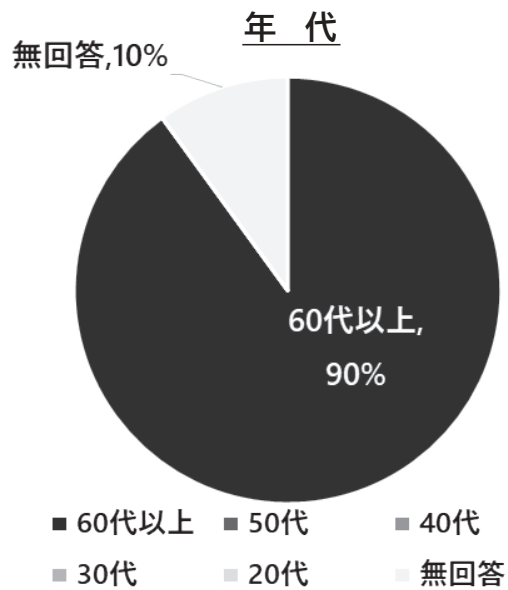
- ・また新しいことがあったらイベントをしてほしいです。
- ・新発見の事例があれば、そのことについて展示・説明していただきたい。
- ・キリスト教自身の変容をも考えねばならないのでは。

(ロザリオ館)

- ・各館が盛り上がるようにお願いします。
- ・いろいろやってもらいたい。
- ・新しい発見が出てきたときにお願いします。
- ・今後とも、新しい資料が出てくるものと思われます。その都度テーマを決めてやってほしい。

「潜伏キリシタンのまなざし」古文書講座アンケート

【《天草キリシタン館》開催日:12月17日(日) 参加者:10人 回答:10人 回答率:100%】



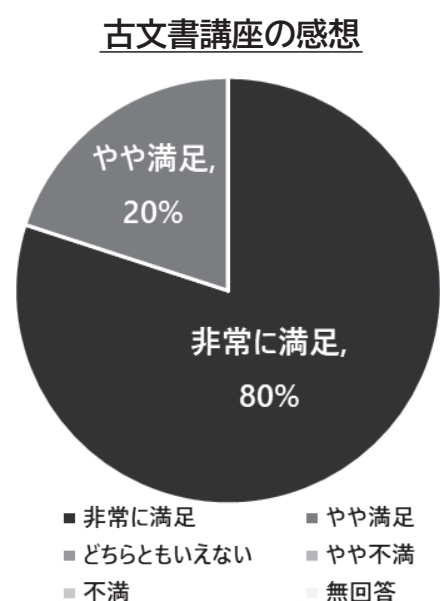
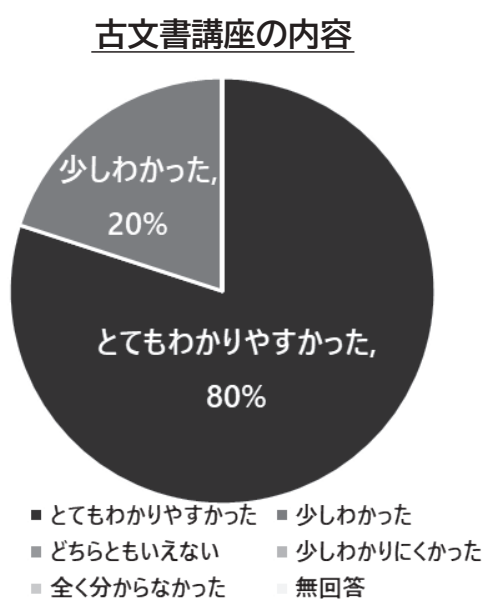
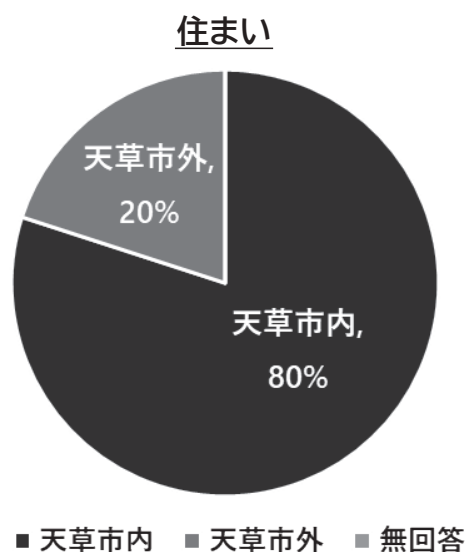
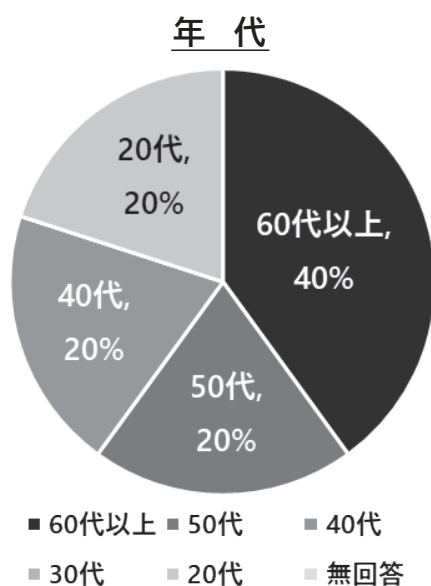
■よかった点・わかりにくかった点・改善点等

- ・家の特徴等、注意点を明確に説明して下さったこと。
- ・ていねいに教えてもらった。
- ・今回参加し、もう少し多くの機会を持ちたいと思った。
- ・回答のときの字が少し小さく見にくかった。

■感想・要望等

- ・機会を多くしてほしい。
- ・今後こういう機会があれば参加したいと思います。
- ・はじめて参加しましたが、興味がわきました。
- ・古文書に接する機会が非常に少ないのが残念です。(特に一般人として)

【《天草口ザリオ館》開催日：1月28日(日) 参加者：5人 回答：5人 回答率：100%】



■よかった点・わかりにくかった点・改善点等

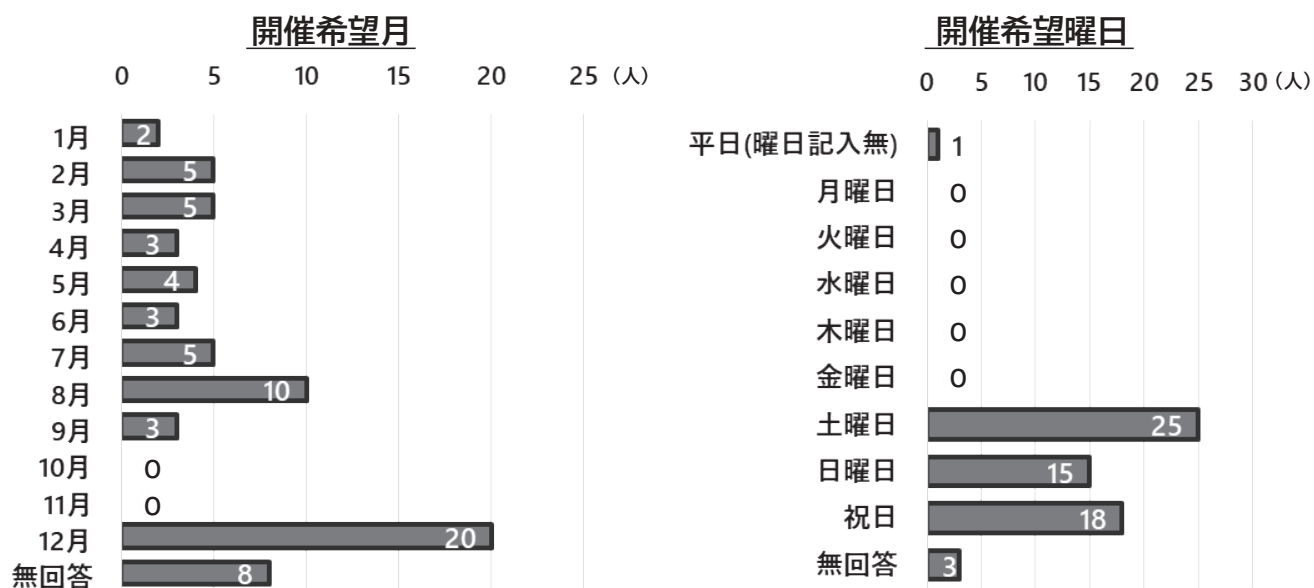
- ・ 補足説明がわかりやすかった。
- ・ 古文書によく出てくる文、語句の説明が役に立った。

■感想・要望等

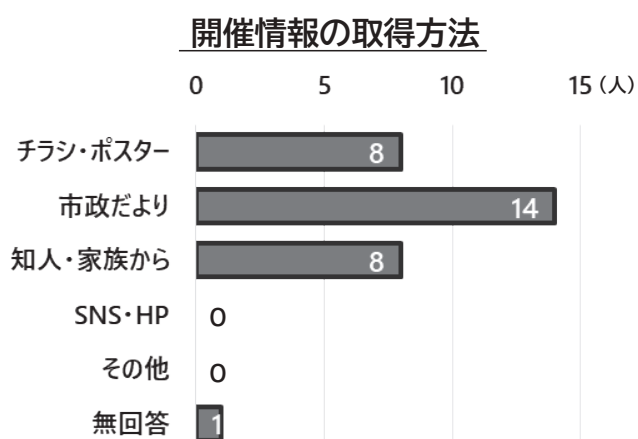
- ・ 時間がもう少しあると全部終わるかも。
- ・ 古文書解読には、時間が足りないと思った。
- ・ 講師の方が辞書の使い方をやさしく教えてくださいました。辞書を買って読む練習をもっとしたいです。

⑥クリスマスワークショップ(天草キリシタン館)

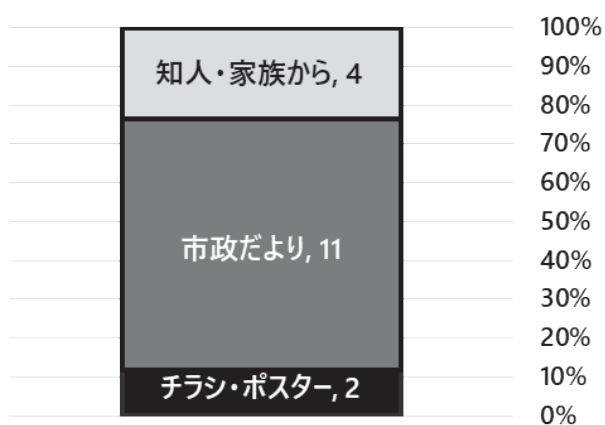
【開催日:12月9日(土) ①13:00~14:00 ②15:00~16:00 参加者:31人 回答:31件 回答率:100%】



年代別情報取得方法内訳 (～19歳)



年代別情報取得方法内訳 (20歳～)



■クリスマスワークショップの感想（一部紹介）

- ・ 素敵なイベントをありがとうございました。
- ・ 時間があっという間に過ぎました。楽しかったです。
- ・ 親子で体験できる機会がなかなかないため貴重な体験でした。また機会があればぜひ参加したいと思います。
- ・ 娘が集中して取り組んでおり、新たな一面を見ることができました。
- ・ 少し時間が足りなかったです。
- ・ 少し難しかったですが、楽しかったです。ありがとうございました。
- ・ ひとつひとつ毛糸で巻くのでは時間を要しました。1時間ではできませんでした。
- ・ 最初の館長さんのお話し楽しかったです。クリスマスの様子（禁教時代の天草での）が少しわかって楽しかったです。ワークショップは娘が楽しんでいて、見ている私も嬉しかったです。
- ・ 子どもたちが楽しく制作できて良かったです。

■今後開催してほしいワークショップ

- ・ ネックレス（の制作）。
- ・ お正月用（の飾り等の制作）。（「ミニかど松」など類似回答1件）
- ・ リース作り。（ツタのリースに飾りを巻いたり付けたりする）
- ・ ミニツリー作り。（類似回答1件）
- ・ スノードーム作り。（同回答2件）
- ・ ランタン作り。キャンドル作り。（類似回答2件）
- ・ ビーズアクセサリ作り。
- ・ 海の砂浜にあったもの（シーグラス・貝殻等）で作品を作るワークショップ。（類似回答1件）
- ・ 絵具で絵を描きたい。
- ・ ひな祭りやハロウィン、またクリスマスもしたいです。天草ならではのものを使えると身近に感じられて良いと思います。（類似回答1件）
- ・ インテリアになるようなもの。
- ・ 夏らしいワークショップをお願いします。
- ・ 天草キリシタンの一揆について、保育園年長～小学校低学年レベルでもわかる解説や館内の案内など。

3. キリシタン資料館セミナー「どうする資料館」講演録

日 時：10月7日(土) 13:30～15:40

場 所：天草市複合施設こころす1階会議室

①「博物館の役割と地域との協働」

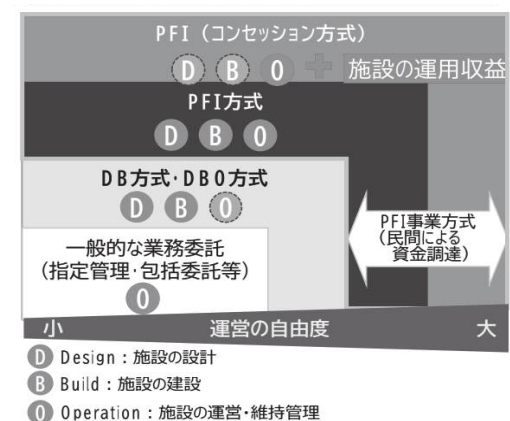
講 師：阿部 正喜氏（東海大学経営学部 観光ビジネス学科 / 文理融合学部 地域社会学科教授）

1. 博物館を学ぶ—教育が基本ですが

博物館と言っても、美術館や歴史博物館、自然史博物館など様々な種類がある。歴史系の博物館においては、歴史文化の座標軸をどう捉えるか、ということが重要になる。天草においては、天草という地域のこととキリシタン文化をきちんと捉えたうえで、どの時代を切り取ったとしても断面が描けるようになることがまず基本となる。

指定管理にすることで民間の力を取り入れた例として、佐賀県武雄市にある武雄市図書館は、T S U T A Y Aの運営で知られるCCC（カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社）とスターバックスが連携して運営している。長崎県立・大村市立一体型の図書館「ミライ on 図書館」内にある大村市直営の歴史資料館では、天正遣欧使節をテーマにしたシアターを見ることができる。3画面を駆使した大迫力の映像に加え、画面に表示された人物などにタッチすることで説明が表示されるなど、新しい技術を取り入れている。（チームラボのデジタルコンテンツ「南蛮屏風図 天正遣欧少年使節」）

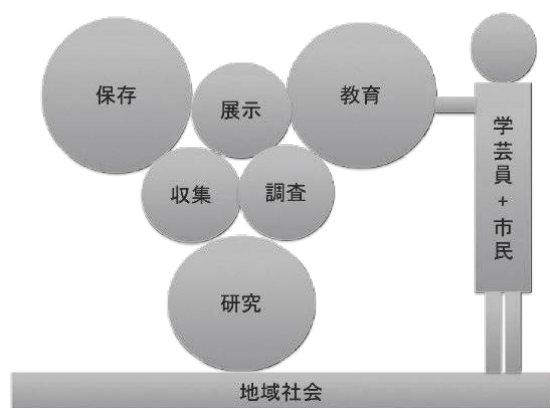
指定管理のなかには、施設の設計（Design）から建設（Build）、運営（Operation）までを民間に任せる「PFI方式」というものがあり、さらには既存施設の運営を民間事業者にゆだね、施設の運用収益を事業運営に利用できる「コンセッション方式」もある。（新規施設の整備や改修等を組み合わせる事例もある）【図1】



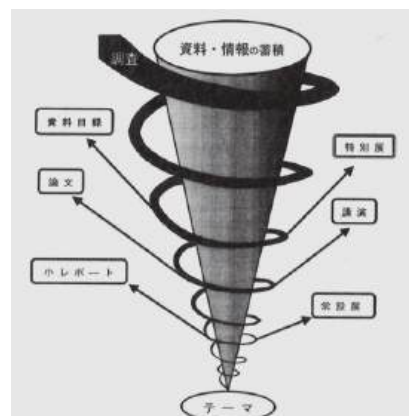
【図1】出典：内閣府(2023)

博物館「museum」は古代ギリシャ語の「museion」に語源があるとされ、もとは学芸の女神が集う神域を指す言葉である。博物館の学問領域のなかで「博物館構成論」というものがある。博物館の場合「もの」「ところ」「ひと」という3つの要素をとる。「ところ」という要素には、どういう活動領域を持っているかという地域の活動領域、さらには屋内と屋外のどちらに展示するかという展示の領域が関わってくる。とくに、博物館の設置目的に関わる立地は重要である。そして「ひと」という要素には、博物館の館長や学芸員・職員、博物館と利用者をつなぐ教育関係者や学識経験者、利用者代表などといった人たち、さらに見学者、研究者などの来館者がいる。ここで重要なのは、博物館は「もの」、すなわち博物館資料を中心に行っているということである。まず地域社会があり、地域研究を基本として、研究・調査、収集・保存、展示・教育という博物館の6つの機能を、学芸員と市民が共に動かしていくというのが理想の姿である【図2】。資料という「もの」を中心に、調査・研究活動を基盤にして普及・展示活動を行う。研究という原動力を失わないためにも、長年培っていた研究・調査のネットワークは大切にしなければならない。博物館の設置目的をこの6つの

機能から見てみると、テーマを原点に、資料や情報の蓄積を積み重ね、スパイラル状に博物館の研究・調査の方向づけを行っていくのが一つのあるべき姿といえる【図3】。



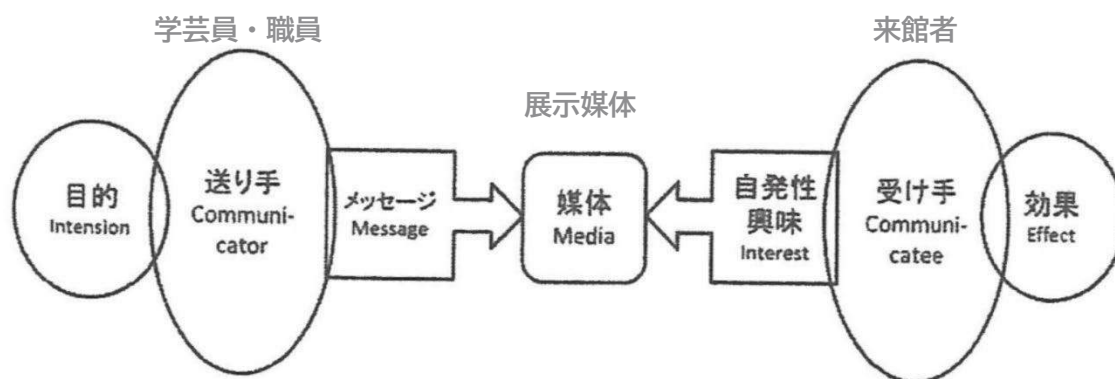
【図2】



【図3】

収蔵庫は博物館の心臓部といわれている。資料は採集・発掘、購入、寄託などによって外から博物館の中に持ち込まれるが、保存科学的な処理や調査研究、収集記録、受け入れ手続き、登録・分類・整理を経て初めて収蔵庫に収められる。これらの専門分野に関わる多くの人たちの努力によって、ようやく博物館資料という形になるのである。また、資料によって適する環境が異なるため、それに合わせて収蔵庫の温・湿度環境を変える必要がある。さらに、温度差による結露を防ぐため収蔵庫の壁は二重になっている。

展示は博物館の鏡や顔だといわれる。学芸員や職員は目的をもって展示媒体を作り、そこにメッセージを込める。その展示媒体を見た来館者が、そのメッセージを受け取り感動する。このように目的と効果が一致することが望ましく、一方通行の展示にならないよう、学芸員は常に来館者とコミュニケーションをとる必要がある【図4】。



展示を通したコミュニケーションの構造 出典： 櫛田・土橋(1988)をもとに作成

【図4】

2. 令和4年博物館法改正の要点

戦後、1949年（昭和24）に社会教育法が制定され、翌年1950年に図書館法が、1951年に博物館法が制定された。社会教育法のもと、博物館は「社会教育のための機関」の一つとして位置づけられている。令和4年の改正によって文化芸術基本法（2017年制定）も加わり、他の博物館との連携や、地域の多様な主体との連携・協力による文化観光等地域の活力の向上への寄与が努力義務となった。また、民間も登録博物館として登録を受けることができるようになり、地方自治体の長が部局をし

この基準では、博物館は基本的な運営方針を踏まえて、年度ごとに事業計画を策定し公表するよう努めることも求めている。加えて自己点検評価も行い、公開・公表するよう努める必要がある。熊本博物館のリニューアルの際も、その後の基本運営方針もこの「望ましい基準」を基に整備している。この基準にはさらに地域社会との連携についても触れられており、ほかの博物館や図書館、公民館などの社会教育施設、学校教育関係団体、行政機関、民間との密接な連携をとるように示されている。

3. エコミュージアムから学ぶ“観光地域づくり”

自然遺産サテライト 文化遺産サテライト 産業サテライト 公共施設サテライト

朝日連峰
朝日川とその流域
最上川カヌー体験
五百川渓谷とその流域
町民の森
ハツ沼・春日沼
空気神社
白倉ブナ林

佐竹家の住宅
大沼の浮島
高田集落
秋葉山とその周辺
りんご博物館
大隅遺跡

果実流通センター
朝日町ワイン
のんぼかの森
家具工場

高齢者生産活動
Asahi自然観

野外展示・授業

コア施設

創遊館

山形県朝日町エコミュージアム

朝日町エコミュージアム
(一例)

Asahi 自然観

朝日連峰

朝日川

サテライト

蜂蜜の家キャンドル

サブコア

ディスカバリートレイル

空気神社

博物館 創造館

コア

大隅遺跡

世界のリング園

朝日町ワイン城

八つ沼

佐竹家住宅

大沼浮島

樺平の棚田

秋葉山

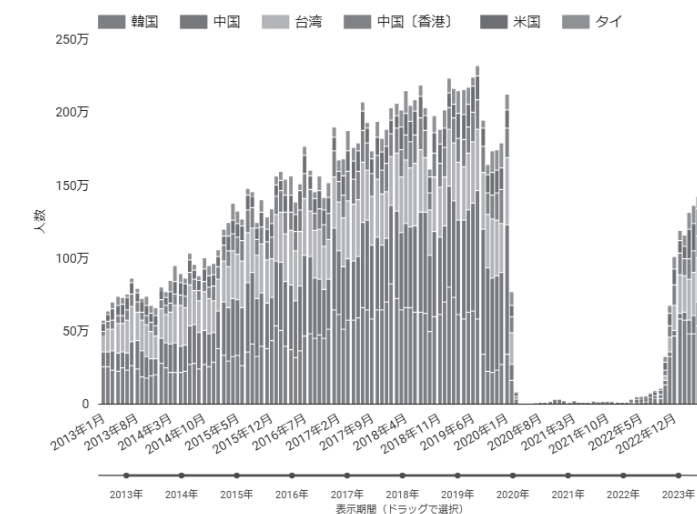
43

山口県の萩市では、エコミュージアムをモデルに「萩まちじゅう博物館条例（2014年）」を制定した。市民が町中を博物館としてとらえ、都市遺産を大切に保存・活用し、萩にしかない宝物を愛着と誇りをもって次世代に確実に伝えることをテーマとしている。その中核施設として萩博物館を置き、各所に散在する史跡や文化財などを、ストーリー性をもってネットワークを構築している。

4. 現代社会の動向から博物館を考える一天草関係の統計分析を加えてー

【図7】は九州のインバウンド（訪日外国人旅行者）を表したグラフで、コロナ禍でほぼ0になっていた旅行者が復活してきていることがわかる。【図8】はフランスの小型クルーズ船（198人乗り）で、天草の場合、オーバーツーリズムを考えると大型船の受入は難しいため、このような小型のクルーズ船の活用が重要になると思われる。

【図7】



注：年次値は月報で公表される月次値の合計であり、年報で公表される年次値とは一致しないことがある。
 国籍別データの期間は、正規の出入国は2013年以降、船舶観光上陸は2017年以降のみ
 資料：出入国在留管理庁「出入国管理統計」（月報）

入国者数（全国）国籍別 2013年1月1日～2023年9月14日 出典：九州経済調査協会

【図8】 フランスのクルーズ船、県内初寄港 2024年春 天草市、上天草市に
 熊本日日新聞 2022.10.25 朝刊

フランスのクルーズ船会社「ボナン」の伊知地亮日本・韓国支社長が24日、県庁で蒲島郁夫知事と面会し、2024年春に同社のクルーズ船が県内に初寄港する計画を報告した。

同社は世界各地でクルーズ船を運航しており、来以降、日本発着のツアーを増やす考え。県内には24年4、5月に鹿児島県や福岡県を発着する2回のツアーで、天草市の崎津港と上天草市の前島港に寄港する。船は198人乗りで、主に欧米の乗客になる見込みという。

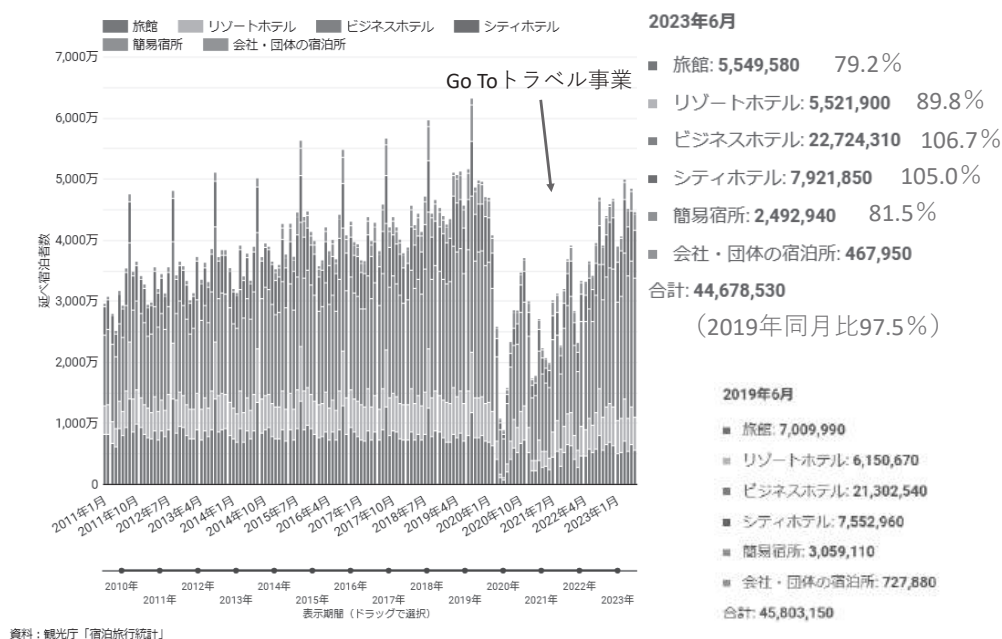
伊知地氏は「船旅の主役は上陸した先だと考えている。魅力的な食材や景色がある天草をぜひ訪れたい」と計画の概要を説明。蒲島知事は「大満足してもらえるよう受け入れに向けた準備をしたい」と述べた。

姫江隆臣上天草市長と馬場昭治天草市長も同席し、地元の魅力をアピールした。
 （内田裕之）



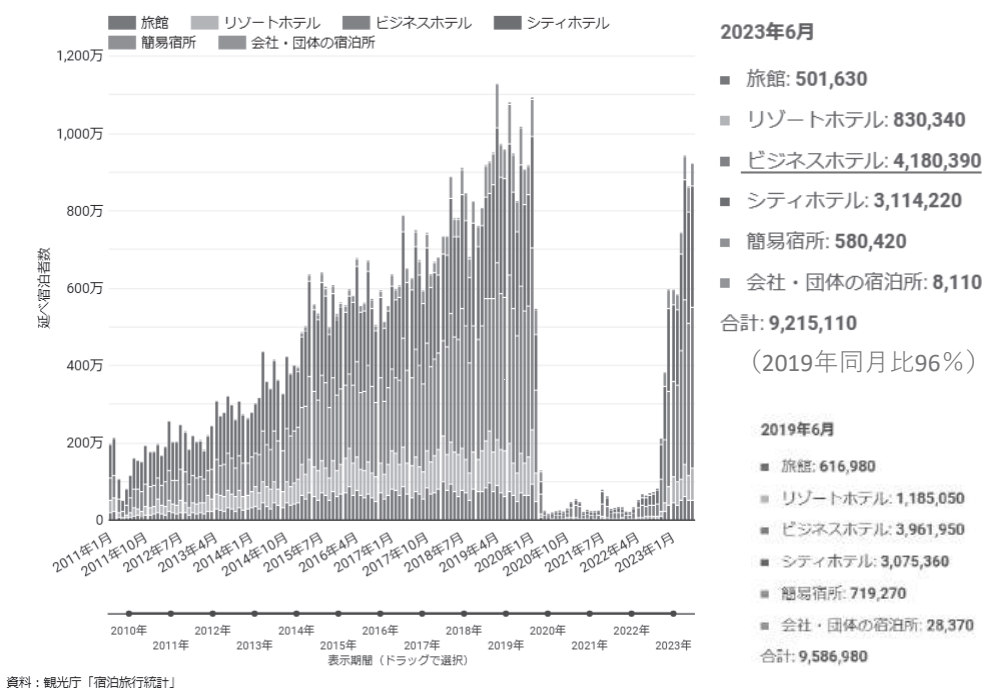
【図9】【図10】は全国のインバウンドと国内旅行者の延べ宿泊者数を表したグラフで、国内の宿泊者数はGo Toトラベル事業で支えられていたことがわかる。インバウンドにはそのような支えがなかったものの、宿泊者数が回復してきている。特にビジネスホテルとシティホテルは2019年度比で96%まで回復している。

【図9】



宿泊施設 延べ宿泊者数 全国 総数 2023年6月まで 出典: 九州経済調査協会

【図10】



宿泊施設 延べ宿泊者数 全国 外国人 2023年6月まで 出典: 九州経済調査協会

【図 11】は天草地域（天草市、上天草市、苓北町）の延べ宿泊者数のグラフである。2019 年と比べると 116%まで回復していることがわかる。【図 12】は天草市観光振興課の統計データをまとめたもので、コロナ禍前は県内よりも県外からの宿泊者数が上回っているが、コロナ禍では逆転しており、典型的なマイクロツーリズムといえる。ここで着目すべきは、外国人の宿泊者数はコロナ禍前から少ないという点である。県内からの旅行客を確保しつつ、県外からの旅行客を戻し、インバウンドのプロモーションを考えることが一つの方向性として考えられる。

【図 11】



2023年3月：52931人（統計値） 97.6％ 8月：85868人（推計値） 116％
2019年3月：54242人（統計値） 8月：74182人（統計値）

天草地域（天草市、上天草市、苓北町）延べ宿泊数（ビッグデータに基づく推計値）

解説：

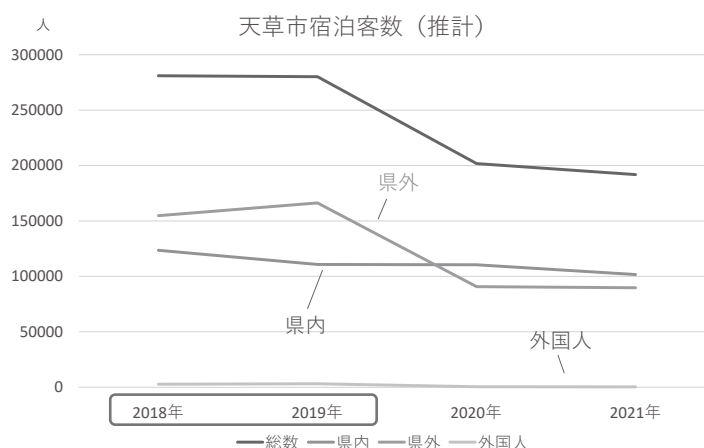
統計未公表期間における延べ宿泊者数を、過去の延べ宿泊者数、およびビッグデータを基に機械学習で早期推計した結果を掲載（毎月上旬に更新）

出典：観光庁「宿泊旅行統計」

熊本県「宿泊旅行統計調査」等を基に
熊本県作成

出典：熊本県公式観光サイト <<https://kumamoto.guide/statistics/>>⁵⁵

【図 12】



天草市宿泊客数推計（2018年～2021年） 出典：天草市観光統計情報、観光振興課

コロナ前は県外が県内より多いが、コロナ禍では逆転。典型的なマイクロツーリズム。コロナ前から外国人（インバウンド）は少ない。インバウンドの伸びしろは大きい。コロナ禍の観光への影響は、宿泊数からみれば、都市圏と比較すれば抑えられている。

課題： 県内を維持しつつ、県外を戻して、インバウンドのプロモーションと誘客。

【図 13】は観光客がどこから来てどこへ向かうのかを位置情報で追いかけることができる「おでかけウォッチャー」を用いた入込観光客数のデータである。(九州経済調査協会提供)上天草市の 2019 年の観光来訪者数は 255 万人、天草市は 193 万人となっている。2022 年は上天草市が 197 万人、天草市が 132 万人とコロナ禍の前から上天草市の方が上回っていることがわかる。熊本市からの距離で並べると、熊本市から離れるほど観光客が少なくなっている。

【図 14】は各施設の観光来訪者数を表している。①2019 年と②2022 年の来訪者数を比べると、上天草市のリゾラテラスは①91 万人、②74 万人、四郎が浜周辺(天草市上津浦)は①38 万人、②27 万人が訪れている。天草キリシタン館周辺は、①19 万人、②13 万人、崎津教会周辺は①25 万人、②14 万人となっており、リゾラテラスを訪れる観光客が一番多いことがわかる。この結果は熊本市から遠くなるにつれて観光客が減っていくことの裏付けにもなる。^{ながべ たいしょうろ}長部田海床路を訪れる観光客が増加しているが、これは『ONE PIECE (ワンピース)』というアニメに登場するキャラクターの像が建てられたことが理由にある。このように、若者の興味や関心を引くことができるような仕組みづくりが実現できれば良いと考える。

天草・島原・長崎のキリシタン関連観光スポットの年間観光来訪者数の推移を見ると、天草キリシタン館の来訪者数はあまり回復していないことがわかる。長崎県の大浦天主堂の来訪者数も、コロナ禍で修学旅行の実施が難しかった影響か、回復していない【図 15】。これには人口減少も関係する。国土交通省が公開している総人口のグラフによると、2008 年の約 1 億 2 千 8 百万人をピークに減少を続け、2100 年には約 4 千 9 百万人と、明治時代後半の水準にまで減少する可能性も示唆されている【図 16】。天草の人口も、2020 年現在で約 7 万 5 千人だったものが 2050 年には約 4 万人まで減少すると予想されている。

市区町村名	年間観光来訪者数 (万人)				2022年/2019年
	2019年	2020年	2021年	2022年	
熊本県熊本市中央区	1,324	726	566	757	0.57
熊本県宇土市	149	115	105	119	0.80
熊本県宇城市	237	162	138	160	0.68
熊本県上天草市	255	204	176	197	0.78
熊本県天草市	193	142	120	132	0.68
熊本県苓北町	15	12	9	11	0.74
熊本県阿蘇市	357	292	278	349	0.98
熊本県南阿蘇村	196	148	130	141	0.72
熊本県人吉市	108	65	53	72	0.67

年間観光来訪者数の推移(天草地域関連の自治体)

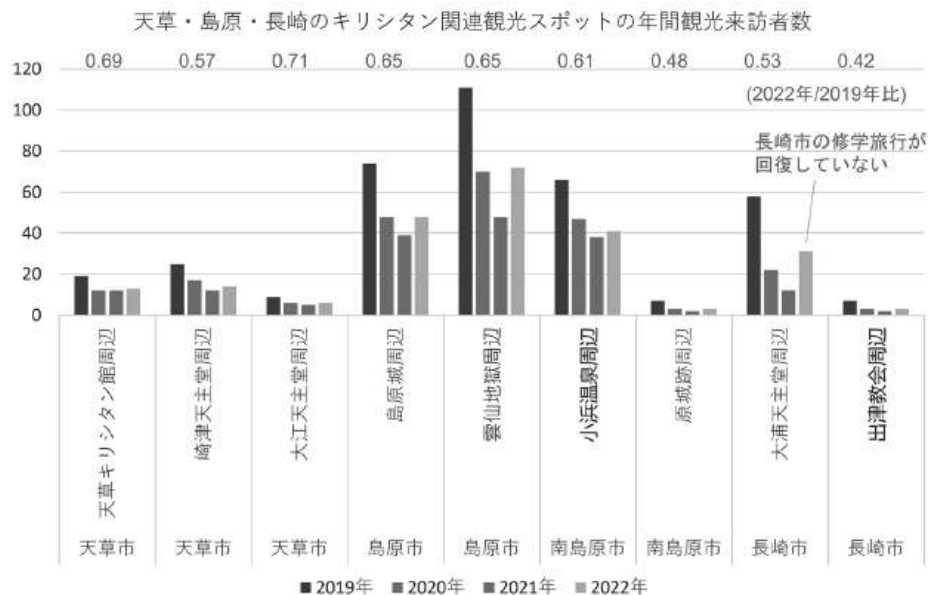
出典：九州経済調査協会、スマホデータを用いた観光人流の定量分析：人流モニタリングツール「おでかけウォッチャー」によるデータ。*発地が20km以上離れている観光客を対象としている。

【図 13】

市区町村名	観光スポット	年間観光来訪者数 (万人)				2022年 /2019年
		2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	
熊本県宇土市	長部田海床路周辺（ながべた） ジンベイ池	8	4	4	9	1.12
熊本県宇城市	三角西港公園周辺	36	29	27	29	0.81
熊本県上天草市	藍のあまくさ村周辺	40	23	20	27	0.68
熊本県上天草市	リゾラテラス天草周辺	91	74	64	74	0.81
熊本県天草市	四郎が浜周辺（天草市）	38	27	23	27	0.69
熊本県天草市	天草キリシタン館周辺	19	12	12	13	0.69
熊本県天草市	崎津天主堂周辺	25	17	12	14	0.57
熊本県天草市	大江天主堂周辺	9	6	5	6	0.71
熊本県天草市	五和町周辺（天草市）	24	18	16	19	0.81

天草地域の観光スポットの年間観光来訪者数の推移
 出典：九州経済調査協会、スマホデータを用いた観光人流の定量分析：人流モニタリングツール「おでかけウォッチャー」によるデータ。＊発地が20km以上離れている観光客を対象としている。

【図 14】



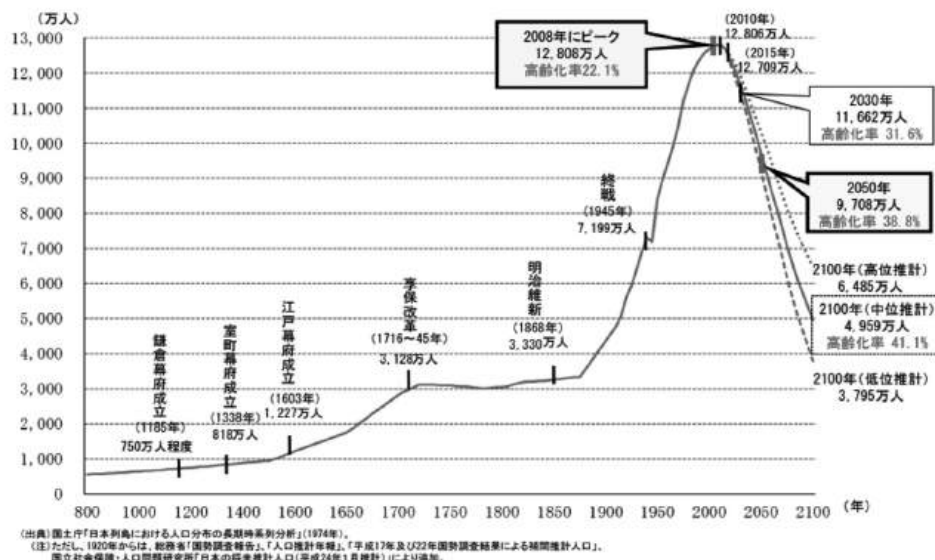
天草・島原・長崎のキリシタン関連観光スポットの年間観光来訪者数の推移
 出典：九州経済調査協会提供：人流モニタリングツール「おでかけウォッチャー」によるデータをもとに作成。＊発地が20km以上離れている観光客を対象としている。

【図 15】

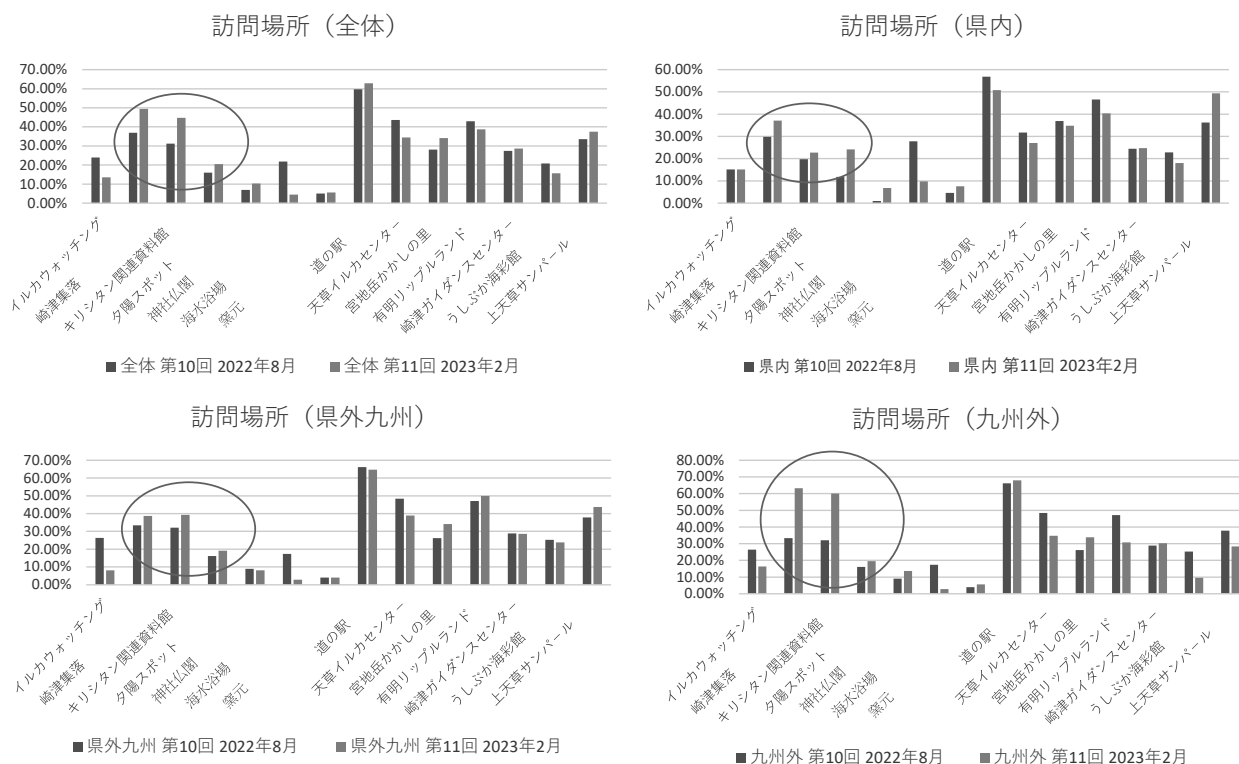
総人口の長期的推移と将来推計(国土交通省)：

○日本の総人口は、今後100年間で約100年前(明治時代後半)の水準に戻っていく可能性。

○この変化は千年単位でみても類を見ない、極めて急激な減少。



【図 16】



夏期と冬期における訪問場所の特徴 出典：天草市観光動向調査 (2023年8月、2022年2月)

2月：崎津集落、キリシタン関連資料館、夕陽スポット、神社仏閣、窯元、宮地岳かかしの里、崎津集落ガイダンスセンター
8月：イルカウォッチング、海水浴場、天草イルカセンター、有明リップランド、うしぶか海彩館

78

【図 17】

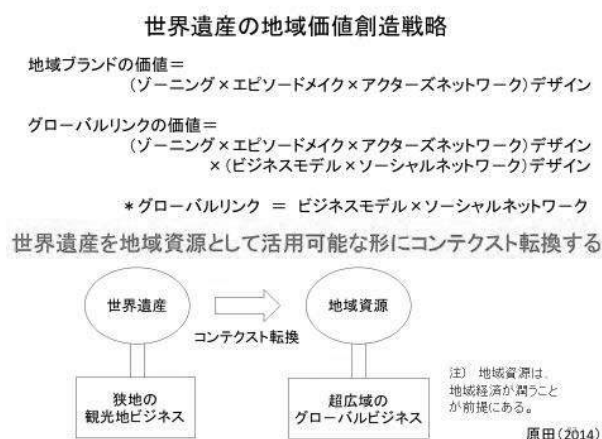
天草市への観光客のうち、県内から来た観光客の 90.5%が5回以上天草に訪問しているリピーターである。県外九州からも 36.8%、九州外から 27.7%が5回以上のリピーターで、プロモーションの強化が望まれる。天草市の観光の特徴は、コロナ禍以前より、基本的に都市圏から近郊へマイカーで旅行するマイクロツーリズムの形態である。また、九州外から来る観光客のレンタカー利用率は高いが、レンタカーの予約が取りづらいため、その充実が急がれる。

観光客の訪問先として冬場は「歴史探訪」を目的に訪れる人が多い傾向にある。実際に、冬場は崎津集落やキリシタン関連資料館、宮地岳かかしの里、崎津集落ガイダンスセンターへの訪問が多い。どのようにして冬場の「歴史探訪」の満足度を高めていくかが重要になる【図 17】。

5. 世界遺産の地域価値創造と地域との協働

2040 年問題（人口減少、格差、環境、食糧）が迫るなか、多くの自治体が「負け組」になるだろうと予想されている。手遅れにならないよう、「小さくても暮らしやすい地域づくり」という観点でもう一度総点検をする必要がある。しかし行政の力にも限りがあるため、協働のための信頼形成とネットワークづくり、人と人、地域と地域をどのようにつなげるか考えなければならない。また、DX（デジタルトランスフォーメーション：デジタル経営戦略）・デジタル化は当然必要である。人口減少を考慮し、産業の再構築のために、まずは観光から立て直すのが早道である。そうすると、歴史・文化の座標軸をつくるキリシタン資料館の役目はクローズアップされてくる。

ビジネスモデルを考えたとき、どこをゾーニングしたか、観光客にどんなストーリーを体験してもらうか（エピソードメイク）、そして関係者のアクターズネットワークによって形作られたデザインが地域ブランドの価値となる。インバウンドの場合、上記に加え、提供されたビジネスモデル（商品）とソーシャルネットワークによってつくられたデザインによって価値が決まる。世界遺産はグローバルブランドを持ち、どの国でも保証されたブランドとしてとらえられる。崎津集落はそのブランド力を積極的に利用すべきであるが、狭地の観光地ビジネスに留まるのではなく、地域経済が潤い、さらには波及していくことを前提にしなければならない。狭い意味での構成遺産としての意味付けをコンテキスト転換し、広域のグローバルビジネスに繋げることが重要になる【図 18】。



【図 18】

明治日本の産業革命遺産である三角西港と三池炭鉱（万田坑）は、それらがどのようなつながりをもつかわかりづらいが、石炭輸送の経由地だった島原の口之津港を間に入れると、それらの遺産をつなぐストーリーがわかりやすくなる。各構成遺産の連携、各博物館・資料館の連携が大事ということである。

世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である「崎津集落」を中心に考えたとき、連携の枠組み作りにキリシタン資料館4館は重要な役割をもつ。天草のキリシタン文化は志岐の南蛮文化の繁栄を歴史的な始点に天草全域へとストーリーが繋がっていくため、志

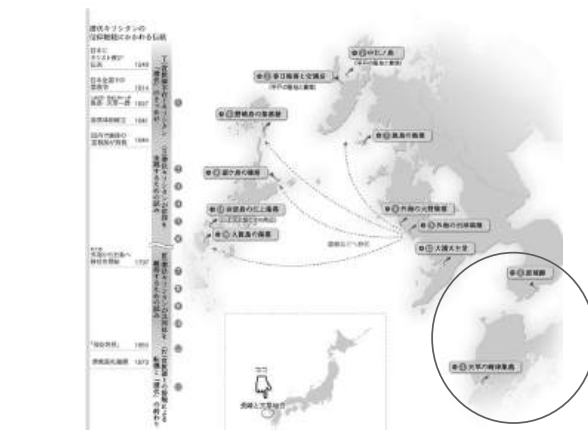
岐地域と連携し、その歴史・文化の座標軸とデザインを早急につくらなければならない【図 19】。

さらには、天草圏から島原圏へ、そして長崎圏へと観光文化施設と連携して、わかりやすい南蛮文化、キリシタン文化を背景として、天草キリシタンの歴史と文化のわかりやすいストーリーづくりをもとに、国内観光、さらにはインバウンド観光対策を講じる必要がある【図 20】。



五人衆の居城・端城、宇土新城は、歴史文化のサブコア・サテライトとして考える⁹¹

【図 19】

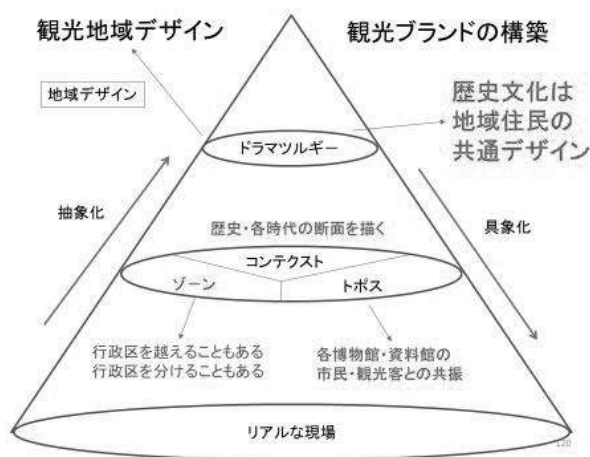


世界文化遺産 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産【公式】<<https://kirishitan.jp/>>

【図 20】

社会学的観察法にドラマツルギーというものがあるが、もとは演劇用語で「上映法」などの意味をもつ。地域デザインについて考えたとき、ドラマツルギーはゾーンデザイン、コンステレーション、トポス（舞台）の3つで構成される。劇場では役者も観客もアクター（演者）である。各博物館・資料館が来館者と感動を分かち合い、共振することでストーリーを体感してもらうことが大切である。また、地域の人たちにおもてなしをしてもらう際、歴史・文化への認識が共通している方が良い。それを共有する仕組みをつくるのが、トポスとしての資料館や博物館の役割である【図 21】。

コンステレーションとは「星座」を意味する。星の配列は偶然の産物だが、星座という形で一定の認識が投影されている。コンステレーションデザインとは、人間の心と地域を結びつけるための物語やエピソードメイクにより形成されるものである。体験や経験を通して、特定の場所や構築物に深い関心を掻き立てるための仕掛けにもなる【図 22】。



【図 21】

コンステレーションデザイン



コンステレーション「布置」:

- 星座を意味している。
- 星の配列そのものは偶然の産物であるが、我々の一定の認識が投影されている。
- 本来無関係であるものが心の中に一定の関係をもって構築される。

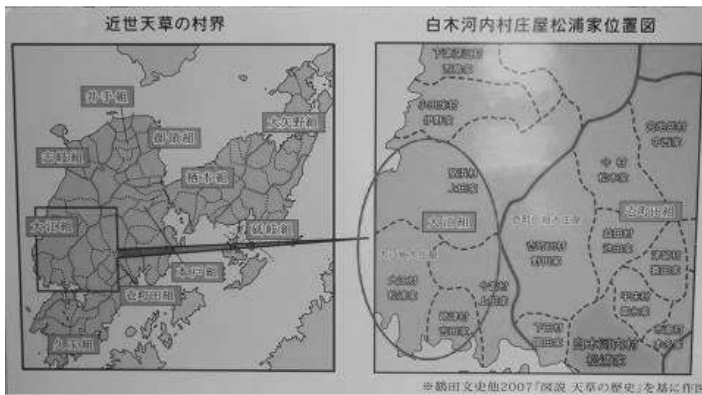
コンステレーションデザイン:

- 人間の心と地域を結びつけるための物語やエピソードメイクより形成されるある種の心の地図のデザインである。
- ゾーンとコンテンツにより多大な価値を付加するためのシナリオ。
- 体験や経験を通して、特定の場所や構築物に深い関心を掻き立てるための仕掛け。

(浅野ほか、2014)

【図 22】

人と地域を結びつける共通認識は歴史文化にある。世界ブランドである崎津集落を中心にルートを整備し、高浜の上田家資料館（私営）も含めて、各館がそれぞれ役割をもって連携を考える必要がある。



“天草崩れ” “潜伏キリシタンの里” のゾーンニング

天草コレジヨ館の展示より

【図 23】

志岐麟泉の受洗からはじまる天草のキリシタン史のストーリーを構築するには、苓北町との連携が不可欠である。天草崩れという一つのストーリーのなかで、崎津集落を中心に4つの地域と連携をとることができる。例えばロザリオ館などは、となりの大江教会との連携や、高浜への導入、サンセットクルーズなど天草西海岸との連携を考えるべきである。雲仙天草国立公園のブランドを活用していくことも重要であり、世界ジオパークとの連携、さらには恐竜分野を含め自然史分野との協働も期待される。

6. 島原・天草の歴史・文化と地域デザイン（提言まとめとして）

天草圏と島原圏さらには長崎圏との連携を行うためにも、天草・島原圏の南蛮文化・キリシタン文化を中心とした観光デザイン、加えて天草各地の地域デザインを捉えるとともに、天草キリシタン資料館各館における役割について再確認することが必要である。天草キリシタン資料館4館は、この機会に歴史文化・教育を基本に、もう一度観光産業などへの貢献がどのようにできるか総点検が必要と考える。その中で、各館が観光資源として磨き上げをしていくことが重要で、その一環として登録博物館を目指すのも一つの方向性といえる。そのためには、中期計画や年次計画の策定や点検・評価などを公表していくことが望まれ、かつ天草市内にある博物館・資料館・ビジターセンターなどの施設が、行政や自治体を越えて連携していく必要がある。なにより学校との連携が最も重要といえる。そして、天草のキリシタンの歴史・文化をどうやって観光客に伝えるか考えたとき、インバウンドの人たちへの伝え方も考えなければならない。例えば、天草のキリシタンの歴史や文化をキリスト教信者たちがどう捉えるのかという観点で検証することが、一つの解決の糸口になると思われる。また、子どもたちはそれぞれレディネス（準備性。学習の前提となる知識や経験、環境などが整っている状態のこと）が異なり理解度に違いがあるため、学芸員・職員はそのことを踏まえておく必要がある。

今までのべてきたように、天草の観光・地域デザインを考えたとき、キリシタン資料館の役割は重要なものになる。そのために、研究サポートの体制を整えておく必要がある。歴史文化の座標軸を捉えた観光地域デザインには、歴史小説を執筆する勢いでわかりやすいストーリーを描く文芸力と総合力を有する人材育成も問われる。さらには教育、文化、経済、観光、都市計画、統計分析、地域づくり等々、行政分野・部局間の調整力と総合企画力を有したプロデュース力が必要となる。少子高齢化による人口問題、財源問題を抱えて、天草市の基幹産業の一つである観光産業の政策展開を考えた場合、交通問題の解決が最重要・優先課題の一つといえるだろう。

②「玉名のキリシタン史と博物館」

講 師：竹田 宏司氏（熊本県文化財保護協会理事・株式会社建設プロジェクトセンター事業推進部長）

1. 河とともに発展した玉名～玉名ってどんなまち？～

（1）伝左山古墳

玉名市街地中心部にある伝左山古墳は、国宝に指定された出土品を持つ玉名郡和水町の江田船山古墳に劣らない内容の副葬品を持つ古墳である。当古墳からは、朝鮮半島で作られた金の首飾りや「素環頭大刀」と呼ばれる刀4本、東南アジアや西アジアの広い範囲から集められた素材が使われたと思われるガラスや碧玉製の首飾りなどが出土している。また、同古墳から複数出土した「短甲」と呼ばれる鎧は、ヤマト王権中枢部から支給されたものと考えられる【図1】【図2】。江田船山古墳も伝左山古墳も朝鮮半島に由来する品物が多いことから、菊池川下流域のこれらの古墳に葬られていた人たちは、朝鮮半島と行き来をしていた可能性がある。加えて、王権中枢部とも非常に強い結びつきを持っていたことがわかる。



【図1】



【図2】

（2）菊池川から有明海そして外海へ～海を渡った石棺

日本で2番目に大きい前方後円墳である誉田御廟山古墳（伝応神天皇陵・大阪府羽曳野市）の近く、大阪府藤井寺市長持山古墳から出土した石棺は、玉名市天水町の経塚古墳から出土した石棺とよく似ている。その理由は、石棺が玉名から大阪に運ばれたものだからである【図3】。2005年に、石棺を実際に運べるか実証するため、宇土市が中心となって「大王のひつぎ実験航海」が実施され、宇土産の馬門石で復元された石棺を1ヵ月かけて手漕ぎの船で運んだ。石棺は7トンもの重量（蓋3トン、身4トン）があり、現代でも運ぶのは非常に難しく、重量物運搬の専門業者に協力してもらった。菊池川下流域の人々は、石棺を運ぶ高度な技術を持っており、この航海技術を駆使して朝鮮半島や東シナ海に渡っていたと考えられる。外交の一端を担っていた可能性もあり、これらを背景にヤマト王権とも強い結びつきを持っていたと推察される。



【図3】



【図4】

(3) 菊池川の中世～高瀬・伊倉

平安時代の終わりごろ、平氏政権の時期以降、多くの輸入陶磁器が入ってくるようになる。菊池川の河原には、青磁や白磁といった中国製陶磁器のかけらが落ちており、これらは輸送の途中で破損したものを廃棄したものと考えられる【図4】。また、玉名には「唐人町」という地名が残っており、中国人街があったことがわかる。実際に玉名市伊倉には、元和5年（1619）に建てられた日本最古の中国人墓である郭瀆沂墓^{かくひんき}のほか、2番目に古い林均吾墓^{りんきんご}や同年代とみられる謝振倉墓^{しゃしんそう}などの中国人墓が残されている【図5】。加えて、慶長年間に造られたとみられる十字架が刻まれた吉利支丹墓碑もある。これらのことから、玉名という地域は、中国人やポルトガル人といった人々が闊歩する菊池川河口の国際貿易港だったことがわかる。



【図5】



【図6】

戦国時代の玉名は豊後（大分）の大友宗麟の勢力下にあった。大友宗麟の書状には、天正4年（1576）に玉名の高瀬の港からフランキー砲を陸揚げし、大分まで運ばせたという記録が残されている。このころ九州の北は龍造寺氏、南は島津氏が治めていた。玉名は、大分の大友氏や長崎の大村氏・有馬氏といったキリシタン大名を結ぶルートの中心に位置しており、大分を通して瀬戸内海や堺、京の都と、長崎を通して海外ともつながっていた【図6】。

ルイス・デ・アルメイダが、玉名の高瀬に初めて来たのは永禄4年（1561）のことである。永禄6年（1563）に横瀬浦（長崎県）で焼き討ち事件が起こると、コスメ・デ・トルレス神父とジャコベ・ゴンサルヴェス修道士らを伴って高瀬へと避難し、滞在中に布教を行ったことが記録に残されている。川尻（熊本市南区）で活動を行っていたドルテ・ダ・シルヴァ修道士が、自身の死に臨み、トルレス神父との面会を切望したため、アルメイダが高瀬に連れて行ったとされる。シルヴァはその10日後に亡くなったという。玉名市伊倉の旧家中山家には一房の毛髪が伝来している。シルヴァの遺髪の可能性があるとともいわれている。東野利夫氏の著書によると、400年前の西欧人の髪のものであるとする鑑定結果がでたとされているが、残念ながらそのデータは公表されていない。

（４）近世菊池川下流域の船着場と港町～国指定史跡 熊本藩高瀬米蔵跡（高瀬船着場跡・高瀬御蔵跡・晒船着場跡）

その後、海外との交流が制限される時代になると、玉名は米の積み出し港として栄えることになる。肥後米は江戸時代には天下一の米として、大阪堂島米市場の米価の基準となっていた。熊本藩から大坂へ運ばれる年間40万俵のうち、半分を玉名から積み出していた。しかし西南戦争によって高瀬御蔵は焼失し、その後鉄道輸送に転換したことで、港としての玉名の歴史は終わった。

2. 玉名市立歴史博物館ころろピア

玉名市立歴史博物館は「河とともに発展した玉名」をテーマとする博物館で、平成6年（1994）に開館した。「ころろピア」という愛称には、「心の架け橋となるように」という想いが込められている。

（１）運営体制（令和5年度）

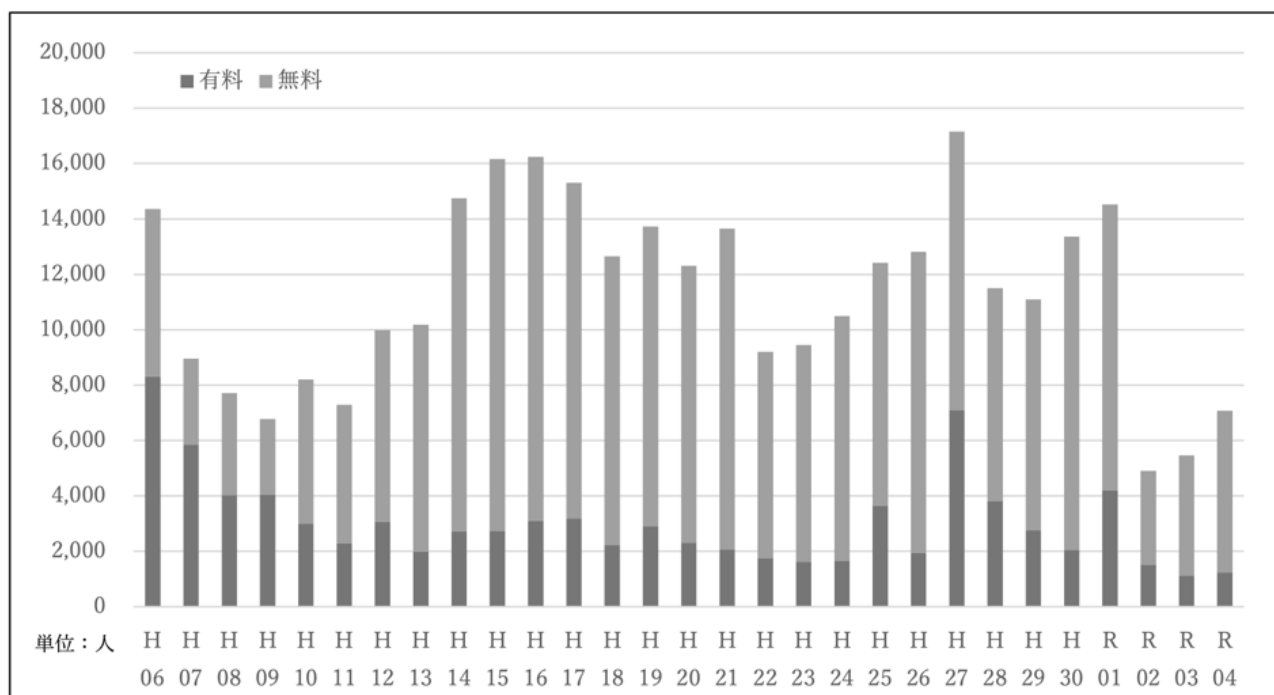
しかし実状は、30年以上常設展示がそのままで、職員数も開館当初時の半分以下となり、さらにその半分以上を非常勤職員が占める。玉名市は教育委員会事務局に文化課があり、文化係、文化財係、博物館ころろピア係の3つの係を管轄している。博物館ころろピア係は、館長兼係長（学芸員有資格者）のほか職員が2人、うち1人が学芸員であり、専門は考古学。ほかに非常勤（会計年度任用職員）の学芸員が4人おり、日本史2人、美術1人、西洋文化史2人という構成で運営を行っている。

（２）企画展示（令和4年度以下同）・特集展示

年度別の入館者数を見ると、おおよそ1万人から1万6千人ほどの幅で推移している。令和2年ごろから急激に減っているのは新型コロナウイルスの影響である。逆に、話題性のある企画展を開催したときなどは一時的に増えている。コロナ禍により3分の1まで減少した入館者数も、今は少しずつ回復してきている【図7】。

この間、年4回開催していた企画展の回数を2回に減らし、その分、内容を充実させることに注力した。さらにその労力を、博物館の基礎である資料の収集保管・調査研究といった土台作り

やすことにした。また、実績として記録に残すために、企画展の際には必ず図録を作ることにした。加えて展示室内の撮影およびSNSへの投稿を解禁した。これには所有者の同意が得られていない場合や著作権の問題などもあるが、実現は不可能ではない。



【図7】年度別入館者数

(3) 催し物・体験学習

博物館では様々な体験学習を行っているが、市民団体と連携できる事業に関しては共催という形をとっている。毎年夏に行っている「菊池川の宝さがし」というイベントは、NPO法人高瀬蔵との共催で、博物館からは学芸員が赴いて菊池川に落ちている土器や陶磁器片の説明を行っている。また、水生生物に詳しい専門家にも毎年ボランティアで参加してもらい、生き物について解説してもらっている【図8】。高瀬官軍墓地で行われる「西南戦争慰霊祭」の後には、玉名遺産を活か



【図8】

す会との共催で「西南戦争戦跡めぐり」を行っている。体験学習や催し物に関しては、数を減らして館の理念に即したものの、かつ展示と連携するようなものに絞り込んでいる。また、企画展の際には必ず展示解説や講演会を行っている。体験学習とは異なるが、園児たちが博物館の敷地内に生えているタケノコや竹を取りに来ることが毎年の恒例行事となっている。展示内容がわからなくても、子どもなりに楽しめる部分があればそれだけでも十分意義はあるといえる。

3. 博物館とは

博物館は単に古いものが置いてあるところではない。それらを見て、現在を知り、未来を考えるための場なのである。2022 年の世界博物館会議プラハ大会で採決された新たな博物館の定義は次のとおり。

「博物館は、有形及び無形の遺産を研究、収集、保存、解釈、展示する、社会のための非営利の常設機関である。博物館は一般に公開され、誰もが利用でき、包摂的であって、多様性と持続可能性を育む。倫理的かつ専門性をもってコミュニケーションを図り、コミュニティの参加とともに博物館は活動し、教育、楽しみ、省察と知識共有のための様々な経験を提供する。」

2022 年 8 月 ICOM プラハ大会で採択/ ICOM 日本委員会訳

4. 施設概要

(1) 各施設情報

施設名	天草キリシタン館	天草ロザリオ館
所在地	熊本県天草市船之尾町 19-52	熊本県天草市天草町大江 1749
開館年月日	1966年(昭和41)8月1日※旧本渡市立天草切支丹館 2010年(平成22)7月1日リニューアルオープン	1988年(昭和63)4月23日
構造	鉄筋コンクリート造地上2階建	鉄筋コンクリート造地上一部2階建
施設面積	1階 383.91㎡ 2階 613.87㎡	1階 482.55㎡ 2階 129.17㎡
開館時間	8時30分～17時00分(最終入館16時30分)	8時30分～17時00分(最終入館16時30分)
休館日	火曜日(祝日の場合翌平日)※天草四郎陣中旗公開期間中は開館 /12月30日～1月1日	水曜日(祝日の場合翌平日) /12月30日～1月1日
施設写真	 1階エントランス  2階展示室	 1階映像ホール  1階展示ホール
施設名	天草コレジオ館	崎津資料館みなと屋
所在地	熊本県天草市河浦町白木河内 175-13	熊本県天草市河浦町崎津 463
開館年月日	1990年(平成2)5月12日 2013年(平成25)11月30日 リニューアルオープン	2016年(平成28)8月1日
構造	鉄筋コンクリート造一部2階建	木造2階建
施設面積	1階 921.75㎡ 2階 511.91㎡	1階 93.66㎡ 2階 96.57㎡
開館時間	8時30分～17時00分(最終入館16時30分)	9時00分～17時00分(最終入館16時30分)
休館日	木曜日(祝日の場合翌平日) /12月30日～1月1日	12月30日～1月1日
施設写真	 1階エントランス  1階展示室	 外観  1階展示室

(2) 施設等工事・修繕

施設名	件 名	期間・期日
天草キリシタン館	車いす昇降機部品取替修繕	4月27日～8月29日
	1階事務所系統 空調修繕	6月8日～7月25日
	昇降機部品交換修繕	6月8日～2月29日
	コロナ除湿器ドレンタンク取替修繕	8月18日～8月25日
	誘導灯ランプ取替修繕(10個)	8月23日～9月28日
	2階グラインドア部品取替え修繕	10月17日～12月1日
	ダウンライト取替修繕	12月8日～1月16日
	LED埋込ベースライト取替修繕	1月29日～3月26日
	1階男子トイレ側壁雨漏り修繕	3月18日～3月31日
天草ロザリオ館	身障者トイレ水栓器具修繕	4月24日～5月9日
	全館用ヒートポンプチラー修繕	4月28日～6月28日
	スチールドア修繕	6月28日～11月27日
	通路ドア ドアクローザー取り付け	10月30日～11月11日
	自動ドア修繕	11月2日～2月23日
	網入りガラス取替修繕	11月6日～12月12日
	展示ケース修繕	1月9日～3月13日
天草コレジヨ館	トイレ手洗い自動水栓取替	5月2日～5月26日
	展示室エアコン点検・修理	6月21日～7月27日
	LED照明交換修繕	1月9日～1月16日
	多目的トイレ小型電気温水器修繕	2月23日～3月7日
崎津資料館みなと屋	誘導灯ランプ寿命取替	4月3日～4月28日
	めくりクイズ修繕	9月11日～10月20日
	展示室第2エアコン修繕	1月18日～1月25日
	展示室系統室外機部品交換修繕	3月21日～3月31日

(3) 担当職員

観光文化部 文化課

課 長 大石 明彦

世界遺産・キリシタン資料館係

係 長 松下 慎司
参事(学芸員) 中山 圭
主 任 嵯輪 麻由
学 芸 員 稲津 貴久

天草キリシタン館

坂本 みゆき
立石 綾
中上 あずさ
本田 稔
松本 眞由美
明瀬 純一
宗像 秀明

天草ロザリオ館

小崎 弘幸
田中 令子
平畑 恵美
松本 泰博
宮崎 美根子

天草コレジヨ館

出永 美喜男
梅田 いつ子
玉木 譲
松尾 幹枝
八谷 小百合

崎津資料館みなと屋

齋藤 幸子
住友 里恵
福岡 拓文
堀口 文子
丸山 淳
森 永寿

天草市立キリシタン資料館

館 長 平田 豊弘
副館長 岡部 京美

5. 天草市立キリシタン資料館条例

（設置）

第1条 天草におけるキリシタンの歴史と文化に関する調査研究を行うとともに、これらに関する資料の収集並びに保存・展示及びこれらに関する情報の発信及び啓発を行うことにより、学術文化の発展並びに地域及び観光の振興に寄与するため、天草市立キリシタン資料館（以下「キリシタン資料館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 キリシタン資料館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
天草キリシタン館	天草市船之尾町19番52号
天草ロザリオ館	天草市天草町大江1749番地
天草コレジヨ館	天草市河浦町白木河内175番地13
崎津資料館みなと屋	天草市河浦町崎津463番地

（職員）

第3条 キリシタン資料館に館長その他必要な職員を置く。

（休館日）

第4条 キリシタン資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、市長は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

名称	休館日	
天草キリシタン館	毎週火曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後において最も近い休日でない日）	1月1日並びに12月30日及び同月31日
天草ロザリオ館	毎週水曜日（その日が休日に当たるときは、その日後において最も近い休日でない日）	
天草コレジヨ館	毎週木曜日（その日が休日に当たるときは、その日後において最も近い休日でない日）	
崎津資料館みなと屋	無休	

（利用時間）

第5条 キリシタン資料館の利用時間は、規則で定める。

（利用の制限）

第6条 市長は、キリシタン資料館を利用しようとする者が次のいずれかに該当するときは、キリシタン資料館の利用を許可しないことができる。

- (1) その利用が公の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) その利用が集团的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認めるとき。
- (3) その利用がキリシタン資料館の施設又はその附属設備を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、キリシタン資料館の管理運営上支障があるとき。

（観覧料）

第7条 キリシタン資料館の観覧料は、別表のとおりとする。

2 前項の観覧料は、前納するものとする。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、観覧料を後納させることができる。

（観覧料の減免）

第8条 市長は、特に必要があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

（指定管理者による管理）

第9条 キリシタン資料館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

2 前項の規定によりキリシタン資料館の管理を指定管理者に行わせる場合にあっては、指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

(1) キリシタン資料館の施設に係る管理及び運営に関する業務

(2) 前号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める業務

3 第1項の規定によりキリシタン資料館の管理を指定管理者に行わせる場合は、第4条ただし書中「市長は、必要があると認めるときは、」とあるのは「指定管理者は、必要があると認めるときは、市長の承認を得て」と、第6条及び第7条第2項中「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

（利用料金）

第10条 市長は、第7条の規定にかかわらず、前条第1項の規定によりキリシタン資料館の管理を指定管理者に行わせる場合には、当該指定管理者にキリシタン資料館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を収受させることができる。

2 利用料金の額は、別表に定める額を上限として、指定管理者が市長の承認を得て定める額とする。

（利用料金の減免）

第11条 指定管理者は、前条の規定により利用料金を当該指定管理者の収入として収受させる場合に限り、市長の承認を受け、利用料金を減額し、又は免除することができる。

（損害賠償）

第12条 利用者は、キリシタン資料館の施設又はその附属設備に損害を与えた場合において、原状回復ができないときは、市長が相当と認める損害額を賠償しなければならない。

（運営委員会の設置）

第13条 キリシタン資料館の適正な運営を図るため、天草市立キリシタン資料館運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（所掌事務）

第14条 委員会は、キリシタン資料館の管理運営に関し、市長の諮問に応じて、次に掲げる事項について審議し、市長に対し答申する。

(1) キリシタン資料館の運営並びに資料の収集、保管及び展示に関すること。

(2) 前号に掲げるもののほか、キリシタン資料館の運営を円滑に行うために必要な事項に関すること。

（組織）

第15条 委員会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

(1) 識見を有する者

(2) 学校教育及び社会教育に関係する者

(3) 観光振興及び地域振興に関係する者

(4) 前3号に掲げるもののほか、市長が適当と認める者

（委員の任期）第16条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任することができる。

(委員長及び副委員長)

第17条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第18条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員長は、会議の議長となる。

3 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

4 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第19条 キリシタン資料館の管理運営に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

(天草市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 天草市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例(平成18年天草市条例第40号)の一部を次のように改正する。

別表天草キリシタン館長の項中「天草キリシタン館長」を「キリシタン資料館長」に改める。

(天草市立天草キリシタン館条例等の廃止)

3 次に掲げる条例は、廃止する。

(1) 天草市立天草キリシタン館条例(平成18年天草市条例第113号)

(2) 天草市立天草コレジヨ館条例(平成18年天草市条例第114号)

(3) 天草市立天草ロザリオ館条例(平成18年天草市条例第115号)

(4) 天草市立天草玩具資料館条例(平成18年天草市条例第116号)

(5) 天草市崎津資料館みなと屋条例(平成28年天草市条例第37号)

別表(第7条関係)

展示の種別	区分	観覧料(各館1人1回につき)					
		個人			20人以上の団体		
		一般	高校生	小学生 中学生	一般	高校生	小学生 中学生
常設展	天草キリシタン館	300円	200円	150円	240円	160円	120円
	天草ロザリオ館	300円	200円	150円	240円	160円	120円
	天草コレジヨ館	300円	200円	150円	240円	160円	120円
	崎津資料館みなと屋	100円			80円		
特別展	全館	展示に要する経費を勘案し、市長がその都度定める額					

(備考) キリシタン資料館を利用する者が、最初の利用日から7日以内にキリシタン資料館を3館以上利用する場合の常設展の観覧料は、この表に定める観覧料の金額にかかわらず、次に掲げる利用者の区分に応じ、(1)から(3)までに定める金額とすることができる。

(1) 一般 600円(20人以上の団体にあつては、1人につき500円)

(2) 高校生 400円(20人以上の団体にあつては、1人につき300円)

(3) 小学生及び中学生 300円(20人以上の団体にあつては、1人につき250円)

天草市立キリシタン資料館 年報 ANNUAL REPORT No.5

編集・発行 天草市観光文化部文化課
世界遺産・キリシタン資料館係
☎0969-32-6784
〒863-8631 熊本県天草市東浜町 8-1

発行日 2024 年 6 月 30 日

印刷 株式会社印刷センター
☎0969-28-6700
〒863-2114 熊本県天草市五和町城河原 2-73

